

福生版

幼保小連携推進ガイドブック



令和6年1月
福生市教育委員会

※ 本書では、幼稚園教諭と保育士を総称して「保育者」と表記しています。

はじめに

現行の幼稚園教育要領と保育所保育指針には、共通して、小学校との連携が次のように示されています。「幼稚園教育・保育所保育において育まれた資質・能力を踏まえ、小学校教育が円滑に行われるよう、小学校の教師との意見交換や合同の研究の機会などを設け、『幼児期の終わりまでに育ってほしい姿』を共有するなど連携を図り、幼稚園教育・保育所保育と小学校教育との円滑な接続を図るよう努めるものとする・努めること。」これは幼保小連携の基盤となる考え方です。

これまで福生市教育委員会は、家庭における挨拶習慣や読書習慣の定着を目指した「ふっさっ子スタンダード 家庭生活 10ヶ条」について「幼稚園・保育園版」を作成・配布するなど、幼保小連携・接続の重要性について、課題意識をもって取り組んできました。しかし、福生市には公立の幼稚園・保育園はなく、一步踏み込んだ幼保小連携を推進するには一定の制約がありました。

しかし、令和2年度に東京都教育委員会から「就学前教育と小学校教育の一層の充実に関する研究指定地区事業」を受託し、令和5年度までの4年間、市内17園の幼稚園・保育園と、市内小学校7校等を構成員とする「幼保小連携推進委員会」を設置し、幼児教育・保育から義務教育段階へと移行する接続期の教育・保育の在り方に着目した共同研究を行うことができました。

本研究の目的は、小学校に入学する1年生が、安心して学校に入学できるようにすること、学校で学ぶことの楽しさを実感させ、学びの意欲を育てることにありました。そのためには、各園と学校の教員間のつながりを強くしていくことも重要な視点でした。

コロナ禍での取組ではありましたが、慶應義塾大学と協定を締結し、幼稚園・保育園等を対象とした調査研究の実施や、スタートカリキュラムの実施と改善、交流活動の充実に取り組みました。令和5年度には、令和4年度までの取組が持続可能なものとなるよう、小学校ではスタートカリキュラムの改善、各園では小学校を意識した教育・保育の充実に取り組んでいただきました。

4年間の共同研究を踏まえ、現在、福生市においては、公立私立の枠を超えて、幼保小接続・連携の機運が満ちている状況となりました。この状況を持続可能な取組とするために、このたび本書「幼保小連携推進ガイドブック」を作成いたしました。

第1章は、福生市における幼保小連携の概要を、第2章では、福生市における幼保小連携の取組の具体についてまとめて掲載しました。第3章では、市内全小学校のスタートカリキュラムの実践事例を、第4章では、幼稚園・保育園の交流活動の実践事例をそれぞれ掲載いたしました。

本ガイドブックは、幼保小連携の架け橋期に携わる教職員・保育者だけではなく、小学校の他学年、さらには中学校教員にも知っていただきたい内容です。とりわけ本市に初めて異動してきた方にとっては、福生市における幼保小連携の入門書となっております。

結びとなりますが、4年間にわたり御指導、御助言賜りました東京都教育庁指導部義務教育指導課の皆様、慶應義塾大学教授 中室牧子先生をはじめ研究同人の皆様、市内幼稚園・保育園等の園長及び保育者の皆様、市内小学校長及び幼保小連携推進委員の皆様等、研究に携わってくださった全ての皆様に感謝を申し上げます。

令和6年1月

福生市教育委員会

教育長 石田 周

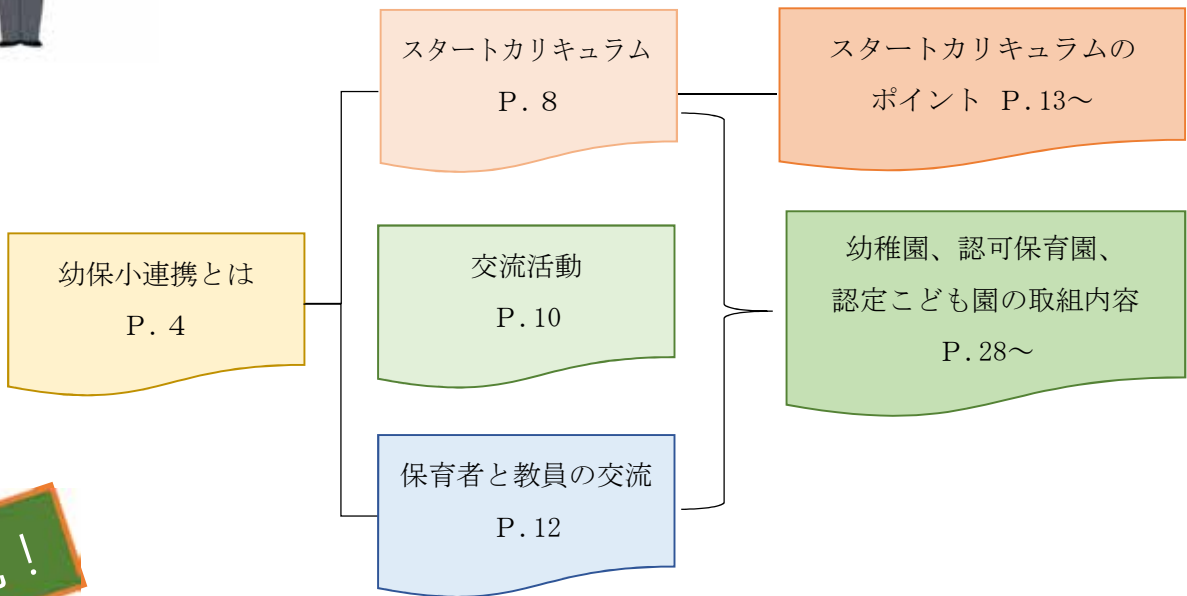
目次

本書の活用について	3
第1章 福生市の幼保小連携	
1 幼保小連携について	4
2 幼保小連携に関する研究のあゆみ	4
第2章 幼保小連携の取組	
1 幼保小連携の1年間	6
2 スタートカリキュラム	8
3 交流活動	10
4 保育者と教員の交流	12
第3章 福生市立小学校のスタートカリキュラム	
実践事例のページ構成	13
1 福生第一小学校	14
2 福生第二小学校	16
3 福生第三小学校	18
4 福生第四小学校	20
5 福生第五小学校	22
6 福生第六小学校	24
7 福生第七小学校	26
第4章 市内幼稚園、認可保育園、認定こども園の取組	
各園が重点的に涵養を図った資質・能力	28
事例1 牛浜幼稚園	29
事例2 聖愛幼稚園	30
事例3 清岩院幼稚園	31
事例4 東福保育園	32
事例5 若葉保育園	33
事例6 加美平保育園	34
事例7 福生杉ノ子保育園	35
事例8 杉ノ子第二保育園	36
事例9 杉ノ子第三保育園	37
事例10 弥生保育園	38
事例11 福生保育園	39
事例12 不動の森こども園	40
事例13 すみれ保育園	41
事例14 熊川保育園	42
事例15 わらべつくし保育園	43
事例16 ありんこ保育園	44
事例17 牛浜こども園	45
資料	46

本書の活用について



このガイドブックは、福生市における幼稚園、認可保育園、認定こども園（以下、「幼稚園、保育園」という）と、小学校の連携を推進するためのものです。この資料を活用し、双方の取組が充実されることを願っています。



必読!



令和5年3月に作成した、福生市教育委員会の研究報告書『幼保小の円滑な接続・連携の促進と幼児教育の充実を図る取組について～「学びに向かう力、人間性等」の涵養の観点から～』も参考にしてください。



今年から、1年生の担任ですね。
子どもたちの小学校生活
がスムーズにいくように、
頑張りましょう。

よろしく
お願いします!



「幼保小連携」は、聞いた
ことはありますか。

あります。
もっと勉強したい
取組の一つです。



第1章 福生市の幼保小連携

1 幼保小連携について

平成29年度の小学校学習指導要領総則には、「学校段階間の接続」が示されています。しかしながら、幼児期と児童期との教育内容や方向性の違いから、その接続は容易なことではありません。

幼児期の教育を通して育まれた資質・能力を踏まえた教育活動の実践によって、児童が主体的に自己を発揮しながら学びに向かうためには、どのようなことが大切なのでしょう。

「幼保小連携」は、幼稚園、保育園が、小学校と連携して授業をすることだと思います。でも、具体的に、どのようなことをするかは、あまり分かりません。



そうですね、幼稚園、保育園での取組と小学校教育との円滑な接続を行うことがポイントです。

具体的には、特定の教科で実施するというのではなく、様々な教育活動で実施します。

そう言えば、「スタートカリキュラム」という言葉を聞いたことがあります。



よくご存じですね。後ほど、「スタートカリキュラム」について確認していきましょう。

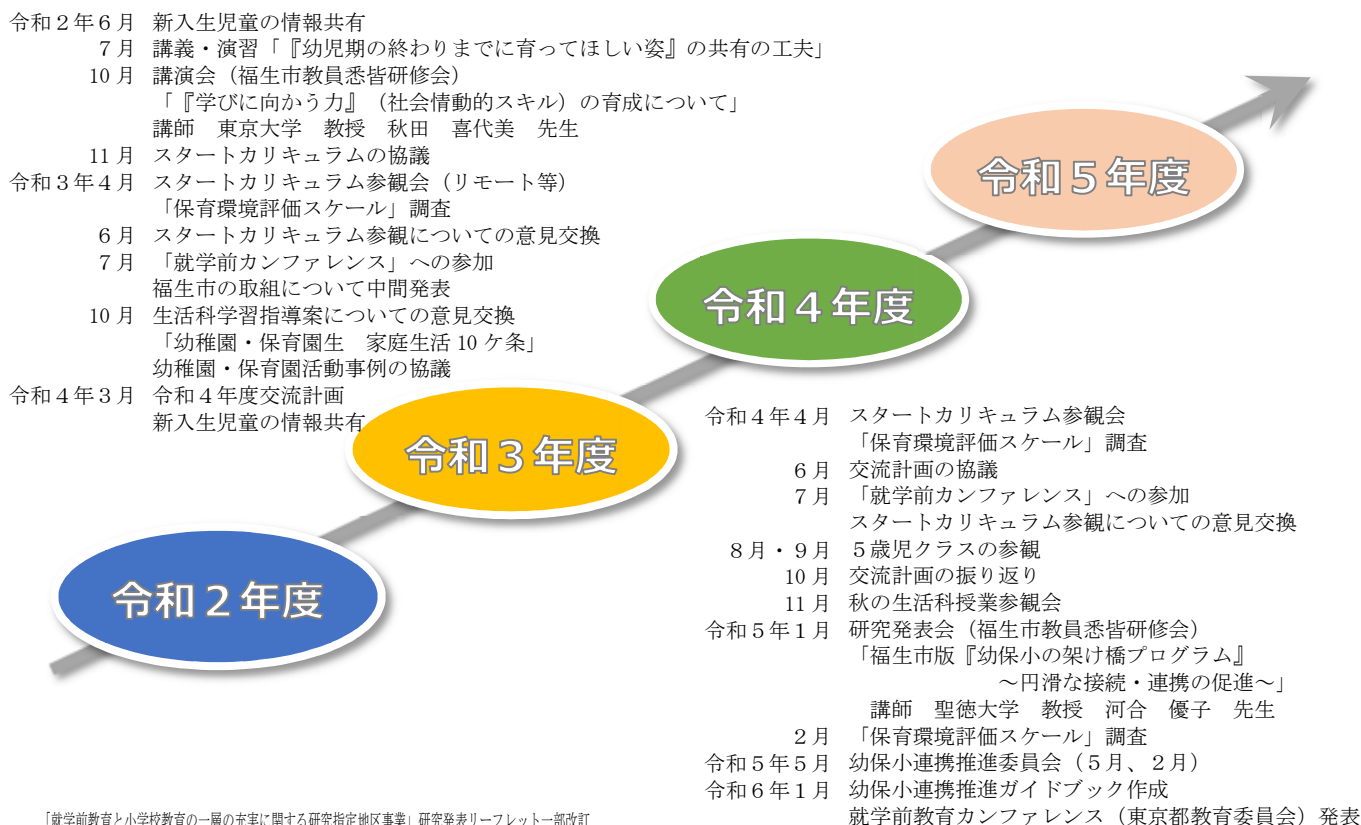
ほかにも、福生市では、幼稚園、保育園と小学校との「交流活動」を大切にしています。これは、園児と小学生だけではなく、中学生との交流や、先生同士の交流も含まれます。

それでは、初めに4年間の福生市の研究について説明します。

2 幼保小連携に関する研究のあゆみ

福生市教育委員会は、令和2年度から4年間にわたり、東京都教育委員会「就学前教育と小学校教育の一層の充実に関する研究指定地区事業」を受け、研究主題「幼保小の円滑な接続・連携の促進と幼児教育の充実を図る取組について～『学びに向かう力、人間性等』の涵養の観点から～」をテーマにした研究に取り組みました。

(1) 経緯



(2) 成果と課題

成果

- ①「幼保小連携推進委員会」の定期開催による小学校と園との連携・接続の促進
小学校と園の担当者が継続的に協議することができ、連携・接続の促進につながりました。
- ②接続期に育成を目指す資質・能力「ふっさっ子像」の共有による指導の充実
小学校と園とが相互の教育・保育活動についての理解を深め、指導の充実に役立ちました。
- ③市内共通フォーマットを用いたスタートカリキュラムの作成及び教育課程編成
市内で共通のフォーマットを活用し、各校のスタートカリキュラムをデザインしました。
- ④小学校と園の保育者・教員間の保育・授業参観の充実による相互理解の促進
幼児期に育まれた資質・能力がどのように発揮されているか等を共有し、相互理解が進みました。
- ⑤年間を通じた交流計画の実施及びねらいを明確にした交流活動の充実
目指す「ふっさっ子像」に迫るための交流活動を創出することができました。
- ⑥エビデンスに基づいた質の高い教育・保育活動の促進
エビデンスに基づいたコンサルティングにより、質の高い教育・保育活動の促進につながりました。
- ⑦保育者、幼稚園教諭及び小学校教員の指導力向上の促進
「学びに向かう力、人間性等」を高める保育・教育の指導方法を共有しました。

課題

- ①「学びに向かう力、人間性等」の涵養を目指した実践の積み重ね
- ②スタートカリキュラムのより一層の改善
- ③幼保小の連携を促進する持続的な取組
- ④幼児教育の充実を図る取組

第2章 幼保小連携の取組

1 幼保小連携の1年間

4月

5月

6月 7月

8月

9月

幼稚園

保育園

スタートカリキュラムの参観

小学校で実施しているスタートカリキュラムを参観します。

参観後、協議会を行い、意見交流、情報共有を行います。

教員交流

5歳児クラス参観の実施

次年度入学する幼児の様子や、園で実施している教育、保育活動について共有します。

(P.12 参照)



職場体験 (中学校)

幼保小連携の1年間を確認しましょう。



幼保小連携推進委員会①

教員交流

計画期間

幼保小連携推進委員会で協議した内容を基に、交流活動計画書を作成します。(P.11 参照)



小学校

スタートカリキュラムの実施

入学から5週間、スタートカリキュラムを実施します。

(P.8~9 参照)



5歳児クラス参観

園と小学校が日程調整し、8月から9月までの期間に訪問します。

参観後は、各園の取組や工夫について協議し、自校の取組の改善に生かします。

教員交流

各取組の充実を図るために、園と学校は日頃から連絡を取り合うことが大切です。

10月

11月

12月 1月

2月

3月

交流活動事前準備

園児がどのような形で活動に参加できるのかを検討し、計画に基づき、事前指導を行います。

5歳児クラス参観の見直し

スタートカリキュラムや交流活動を通して、活動内容や参観方法等について検討します。

小学校への情報提供

各小学校に入学予定の園児について、園での生活の様子等について伝えます。

教員交流



交流活動

小学校などを学習の場として、連携する園と小学校が交流します。園と小学校の双方がねらいをもち、活動に取り組むようにします。

(P.10 参照)

教員交流



幼保小連携推進委員会②

先生同士の交流が大切です。

教員交流



スタートカリキュラムの見直し

園の先生方から意見を聞き、成果と課題を反映した次年度のスタートカリキュラムを作成します。

交流活動事前準備

様々な学年でどのような交流ができるかを検討し、計画に基づき、事前指導を行います。



入学予定園児の情報収集

小学校に入学予定の園児について、各園での生活の様子等について教えてもらいます。

教員交流

2 スタートカリキュラム

スタートカリキュラムとは、幼児期の学びから小学校教育への円滑な接続を目的とした、カリキュラム編成のことを言います。

入学した児童が、幼児期の遊びや生活を通した学びと育ちを基礎として、主体的に自己を発揮しながら学びに向かうことが可能となるようにするためのスタートカリキュラムの充実が求められています。



さて、小学校に入学してから、すぐにスタートカリキュラムが必要なのは、どうしてか分かりますか。

うーん。小学校に入学した児童が、困らないようにするためではないのでしょうか。



そのとおりです！
小学校入学期だからこそ、スタートカリキュラムを行う意味があります。そこで、次の三つの視点で工夫をしたいですね。

- 1 スタートカリキュラムに幼児教育の考え方を取り入れる。
→児童に安心感が生まれます。
- 2 スタートカリキュラムで、幼児期の経験を小学校の学習につなぐ。
→児童が自信をもち、成長していきます。
- 3 スタートカリキュラムを入り口として6年間を見通す。
→児童の自立につながります。

「スタートカリキュラム スタートブック」(平成27年1月文部科学省国立教育政策研究所教育課程研究センターより一部改変)

安心感を与えたり、自信をもたせたりすることは大切ですね。
1年生から、学校生活の見通しをもたせることで、自立することにもつながるのですね。



そのためにも、スタートカリキュラムの作成の際には、「期待する児童の姿」を決めていくことが必要です。
ポイントは、期待する児童の姿を全教職員で検討し、共通理解を図ることです。各小学校のスタートカリキュラムは13ページから27ページまで掲載しているので参考にしてください。

算数科「なかまづくりとかず」

※ 吹き出し内は、
入学初期における教師の言葉掛け



よい座り方ができていますか。
(自覚を促す言葉)

手を挙げて話しましょう。
(授業規律の指導)

5になるじゃんけん！
(児童の興味を引き出す)

【参観後の協議会】

小学校の先生方が園での学びを、どのように生かすか工夫し、児童の気持ちを高めているかを理解できました。園と小学校との連携について考えるきっかけになりました。(保育者)

幼稚園、保育園での経験や、身に付けた知識、技能などの情報を共有して、スタートカリキュラムに生かすことで、より充実した改善ができると思いました。(小学校教員)

国語科「ひらがなのれんしゅう」生活科「どうぞよろしく」



ぴん、ぴた、ぐー、です。
(オノマトペによる姿勢の指導)

「こ」の付く言葉を見つけてみましょう。(答えやすい発問)

幼稚園や保育園で、勉強したことはありますか。(学習体験の想起)

【参観後の協議会】

園で大切にしている「子どもが、次の行動を考えるような声掛け」を、小学校でも実践されていたので安心しました。指導、支援が同じ方向性だと確認できました。(保育者)

「小学校に入学するまでに、身に付けたいこと」について協議しましたが、各園の保育や教育の方針を理解しながら考えていくことが大切だと感じました。(小学校教員)

3 交流活動

これまでも福生市では、幼稚園、保育園と小学校の交流活動を行ってきました。今後も、交流活動を円滑な接続・連携の視点で充実させ、幼児と児童の豊かな保育、教育活動を創出していくために、「幼保小連携推進委員会」を設置して、交流活動の計画について協議していきます。



「交流活動」では、子どもたちは、どのようなことをしていると思いますか。

小学校第1学年の児童が、幼児と一緒に校庭で遊ぶようなイメージがあります。他にもあるのですか。



そうですね。幼児と1年生が遊ぶことは、子どもたちにとっては、楽しい活動になりそうですね。例えば、幼児と5年生との交流活動もあります。

1年生に限らず、交流活動を通して、何を育てたいかを踏まえて、柔軟に考えていくことが大切ですね。

他の学年との交流は、思い付きませんでした。
交流活動を計画するときに気を付けることはありますか。



幼児が、「お客さんとして参加する」だけでなく、「ふっさっ子像」を踏まえて、幼児と小学生の双方の目標を考えていくとよいですね。

「ふっさっ子像」とは……。



園と小学校の円滑な接続・連携を行う上で、育てたい資質や能力を、双方がイメージしやすい言葉で表した「目指す子ども像」のことです。

ふしぎを ふくらます子

◇目標への情熱 ◇好奇心 ◇感性

つながる つなげる子

◇親密性 ◇尊敬 ◇親切・思いやり ◇援助 ◇気遣い ◇社会性

さいごまで やりぬく子

◇忍耐力 ◇自己調整 ◇穏やか ◇沈黙 ◇素直主義 ◇自信 ◇集中

事例 小学校第5学年と幼児との交流活動



左側の桃色枠が幼児の活動計画で、右側の緑色枠が児童の活動計画です。

それぞれの枠の右側に目指す幼児の姿、児童の姿を示しています。教員もT1、T2と役割を明確にして取り組んでいることが分かります。

※Team Teaching のことで、複数の教員による指導体制

交流活動計画書

幼児の活動計画		交流活動	児童の活動計画	
◇留意点 T1・T2の役割	目指す幼児の姿の例		◇留意点 T1・T2の役割	目指す児童の姿の例
T1 挨拶をして、活動までの幼児の様子を伝える。園で楽しんでいる手遊びや歌を紹介し、幼児と児童と一緒に楽しむ時間となるようにする。	これからの活動を楽しみにして、挨拶や話を聞くことができる。 慣れ親しんだ手遊びをすることで、気持ちを和らげている。	<p>1 よろしくタイム</p> <p>・ ・ ・ 挨拶、グループ 手遊び紹介や歌</p> <p>2 一緒に遊ぶ</p> <p>・ グループ遊び</p> <p>3 さようならタイム</p> <p>・ ・ 感想交流</p>	T1 児童が主体的に幼児に言葉を掛けて、グルーピングできるようにする。 T2 グループができたから、幼児の様子に気を配るように言葉を掛ける。 ◇幼児の名札を見て自己紹介の手助けをするように助言する。	笑顔で接している。 目線を合わせて話し掛けたりすすんで関わったりしようとしている。 一緒に手遊びを楽しんでいる。
T2 一緒に関わることのよさを感じられるよう、グループを回って、幼児に個別に言葉を掛ける。	興味をもって児童の話の聞いたり、遊びを楽しんだりしている。		T1 みんなで楽しめる時間となるよう、言葉を掛ける。 T1、T2グループでできる遊びや読み聞かせなどを考えさせておく。 ◇計画通りにならないグループには柔軟に対応するよう、助言する。	幼児に優しく分かりやすい言葉を選んで話し掛けている。 喜んでもらえるためにできることを考えて行動する。
T2 児童の感想を受けて、感想を伝えられる子に話をさせる。 ◇幼児が自分の感じたことを伝えられるよう、言葉を補うなどの支援をする。	楽しかったことや嬉しかったことを話している。 笑顔で挨拶ができる。		◇児童主導で感想を交流する。 ◇幼児の楽しんでいた姿やよさを具体的に伝えるように言葉を掛ける。	目線を合わせて話を聞いている。 また会おうねという気持ちで挨拶している。

4 保育者と教員の交流

幼児と児童の交流とともに、保育者と教員の交流も大切です。

園と小学校が、幼児や児童が育ってほしい姿や、保育、教育活動の内容や取組について、互いを尊重し合いながら語り合います。交流を通して、子どもたちの成長を願う一員として、つながりを重視した交流にしていく必要があります。



福生市では、「スタートカリキュラム授業参観」や「5歳児クラス参観」を行っています。

参観後は、子どもたちの姿を踏まえ、スタートカリキュラムの内容や、今後の交流活動について協議をしています。

幼児や小学生の様子を参観することは、子どもたちのことを理解するのに、とても良いと思いました。私も参観してみたいです。



[スタートカリキュラム授業参観] 保育者の感想



子どもが間違えても先生は否定をせず、常に褒める言葉を掛けていました。子どもが自信をつけていく理由が分かりました。園でも取り入れていきたいと思いました。

先生の言葉が分かりやすく優しい声で、聞いていて心地良かったです。先生の方を見て、話を聞いていない子には、「見てね。」という言葉掛けていたことは、園での対応と同じだと思いました。



[5歳児クラス参観] 教員の感想



先生方が、幼児に対して温かく優しい態度で保育をしている姿が印象的でした。

朝の会の内容から、今後の幼保小の交流に生かせる場所が多くあり、本校の活動につなげたいです。

幼児の意見が異なる場面がありました。保育者が、お互いの気持ちをくみ取りながら、折り合いをつけるための言葉を掛けて、根気強く寄り添っている姿が参考になりました。



第3章 福生市立小学校のスタートカリキュラム

各小学校は、入学から5週間、スタートカリキュラムを教育課程に位置付けて実施しています。第3章では、各小学校のスタートカリキュラムを掲載しています。それぞれの小学校が、どのようなことを意識してスタートカリキュラムを作成しているのか、ポイントを示しています。

実践事例のページ構成

各校の実践事例は、次のような構成になっています。

スタートカリキュラムで重視する点
各校が重視している点を、「安心」、「成長」、「自立」の視点から記載しました。

先生方が意識している、「ここがポイント」
スタートカリキュラムを実践している先生方が、特に意識しているポイントを2点記しました。授業で大切にしていることや、一週間という「まとまり」で意識していること等を掲載しています。

スタートカリキュラム

3 福生第三小学校

【スタートカリキュラムで重視する点】

- 子どもが安心して学校生活をスタートすることができる環境づくり
- 給食との連携の中で得られた、給食期からの学びと食生活を生かす活動の確立
- 生活科を中心に、体を動かせた活動や遊びを取り入れた学習活動の展開

週別活動表

【年度のねらい① 小学校の1日を知ら、たくましく生活する子どもになる。】

曜日の名	4月27日 びきびきタイム 【生活科のねらい】	4月28日 なかよしタイム 【生活科のねらい】	4月29日 学校生活 【生活科のねらい】	4月30日 びきびきタイム 【生活科のねらい】	5月1日 なかよしタイム 【生活科のねらい】	5月2日 びきびきタイム 【生活科のねらい】
1学期	【生活科のねらい】 1. 学校生活の始まりを歓迎し、安心して学校生活を送ることができるようにする。	【生活科のねらい】 2. 給食の準備や配膳を通して、食生活の大切さを学ぶ。	【生活科のねらい】 3. 学校生活の始まりを歓迎し、安心して学校生活を送ることができるようにする。	【生活科のねらい】 4. 給食の準備や配膳を通して、食生活の大切さを学ぶ。	【生活科のねらい】 5. 学校生活の始まりを歓迎し、安心して学校生活を送ることができるようにする。	【生活科のねらい】 6. 給食の準備や配膳を通して、食生活の大切さを学ぶ。
2学期	【生活科のねらい】 7. 給食の準備や配膳を通して、食生活の大切さを学ぶ。	【生活科のねらい】 8. 学校生活の始まりを歓迎し、安心して学校生活を送ることができるようにする。	【生活科のねらい】 9. 給食の準備や配膳を通して、食生活の大切さを学ぶ。	【生活科のねらい】 10. 学校生活の始まりを歓迎し、安心して学校生活を送ることができるようにする。	【生活科のねらい】 11. 給食の準備や配膳を通して、食生活の大切さを学ぶ。	【生活科のねらい】 12. 学校生活の始まりを歓迎し、安心して学校生活を送ることができるようにする。
3学期	【生活科のねらい】 13. 給食の準備や配膳を通して、食生活の大切さを学ぶ。	【生活科のねらい】 14. 学校生活の始まりを歓迎し、安心して学校生活を送ることができるようにする。	【生活科のねらい】 15. 給食の準備や配膳を通して、食生活の大切さを学ぶ。	【生活科のねらい】 16. 学校生活の始まりを歓迎し、安心して学校生活を送ることができるようにする。	【生活科のねらい】 17. 給食の準備や配膳を通して、食生活の大切さを学ぶ。	【生活科のねらい】 18. 学校生活の始まりを歓迎し、安心して学校生活を送ることができるようにする。
4学期	【生活科のねらい】 19. 給食の準備や配膳を通して、食生活の大切さを学ぶ。	【生活科のねらい】 20. 学校生活の始まりを歓迎し、安心して学校生活を送ることができるようにする。	【生活科のねらい】 21. 給食の準備や配膳を通して、食生活の大切さを学ぶ。	【生活科のねらい】 22. 学校生活の始まりを歓迎し、安心して学校生活を送ることができるようにする。	【生活科のねらい】 23. 給食の準備や配膳を通して、食生活の大切さを学ぶ。	【生活科のねらい】 24. 学校生活の始まりを歓迎し、安心して学校生活を送ることができるようにする。

【年度のねらい② 学習の生活のそとを知ら、】

曜日の名	4月27日 びきびきタイム 【生活科のねらい】	4月28日 なかよしタイム 【生活科のねらい】	4月29日 学校生活 【生活科のねらい】	4月30日 びきびきタイム 【生活科のねらい】	5月1日 なかよしタイム 【生活科のねらい】	5月2日 びきびきタイム 【生活科のねらい】
1学期	【生活科のねらい】 1. 学校生活の始まりを歓迎し、安心して学校生活を送ることができるようにする。	【生活科のねらい】 2. 給食の準備や配膳を通して、食生活の大切さを学ぶ。	【生活科のねらい】 3. 学校生活の始まりを歓迎し、安心して学校生活を送ることができるようにする。	【生活科のねらい】 4. 給食の準備や配膳を通して、食生活の大切さを学ぶ。	【生活科のねらい】 5. 学校生活の始まりを歓迎し、安心して学校生活を送ることができるようにする。	【生活科のねらい】 6. 給食の準備や配膳を通して、食生活の大切さを学ぶ。
2学期	【生活科のねらい】 7. 給食の準備や配膳を通して、食生活の大切さを学ぶ。	【生活科のねらい】 8. 学校生活の始まりを歓迎し、安心して学校生活を送ることができるようにする。	【生活科のねらい】 9. 給食の準備や配膳を通して、食生活の大切さを学ぶ。	【生活科のねらい】 10. 学校生活の始まりを歓迎し、安心して学校生活を送ることができるようにする。	【生活科のねらい】 11. 給食の準備や配膳を通して、食生活の大切さを学ぶ。	【生活科のねらい】 12. 学校生活の始まりを歓迎し、安心して学校生活を送ることができるようにする。
3学期	【生活科のねらい】 13. 給食の準備や配膳を通して、食生活の大切さを学ぶ。	【生活科のねらい】 14. 学校生活の始まりを歓迎し、安心して学校生活を送ることができるようにする。	【生活科のねらい】 15. 給食の準備や配膳を通して、食生活の大切さを学ぶ。	【生活科のねらい】 16. 学校生活の始まりを歓迎し、安心して学校生活を送ることができるようにする。	【生活科のねらい】 17. 給食の準備や配膳を通して、食生活の大切さを学ぶ。	【生活科のねらい】 18. 学校生活の始まりを歓迎し、安心して学校生活を送ることができるようにする。
4学期	【生活科のねらい】 19. 給食の準備や配膳を通して、食生活の大切さを学ぶ。	【生活科のねらい】 20. 学校生活の始まりを歓迎し、安心して学校生活を送ることができるようにする。	【生活科のねらい】 21. 給食の準備や配膳を通して、食生活の大切さを学ぶ。	【生活科のねらい】 22. 学校生活の始まりを歓迎し、安心して学校生活を送ることができるようにする。	【生活科のねらい】 23. 給食の準備や配膳を通して、食生活の大切さを学ぶ。	【生活科のねらい】 24. 学校生活の始まりを歓迎し、安心して学校生活を送ることができるようにする。

【年度のねらい③ 友達の輪を広げて生活する。】

曜日の名	4月27日 びきびきタイム 【生活科のねらい】	4月28日 なかよしタイム 【生活科のねらい】	4月29日 学校生活 【生活科のねらい】	4月30日 びきびきタイム 【生活科のねらい】	5月1日 なかよしタイム 【生活科のねらい】	5月2日 びきびきタイム 【生活科のねらい】
1学期	【生活科のねらい】 1. 学校生活の始まりを歓迎し、安心して学校生活を送ることができるようにする。	【生活科のねらい】 2. 給食の準備や配膳を通して、食生活の大切さを学ぶ。	【生活科のねらい】 3. 学校生活の始まりを歓迎し、安心して学校生活を送ることができるようにする。	【生活科のねらい】 4. 給食の準備や配膳を通して、食生活の大切さを学ぶ。	【生活科のねらい】 5. 学校生活の始まりを歓迎し、安心して学校生活を送ることができるようにする。	【生活科のねらい】 6. 給食の準備や配膳を通して、食生活の大切さを学ぶ。
2学期	【生活科のねらい】 7. 給食の準備や配膳を通して、食生活の大切さを学ぶ。	【生活科のねらい】 8. 学校生活の始まりを歓迎し、安心して学校生活を送ることができるようにする。	【生活科のねらい】 9. 給食の準備や配膳を通して、食生活の大切さを学ぶ。	【生活科のねらい】 10. 学校生活の始まりを歓迎し、安心して学校生活を送ることができるようにする。	【生活科のねらい】 11. 給食の準備や配膳を通して、食生活の大切さを学ぶ。	【生活科のねらい】 12. 学校生活の始まりを歓迎し、安心して学校生活を送ることができるようにする。
3学期	【生活科のねらい】 13. 給食の準備や配膳を通して、食生活の大切さを学ぶ。	【生活科のねらい】 14. 学校生活の始まりを歓迎し、安心して学校生活を送ることができるようにする。	【生活科のねらい】 15. 給食の準備や配膳を通して、食生活の大切さを学ぶ。	【生活科のねらい】 16. 学校生活の始まりを歓迎し、安心して学校生活を送ることができるようにする。	【生活科のねらい】 17. 給食の準備や配膳を通して、食生活の大切さを学ぶ。	【生活科のねらい】 18. 学校生活の始まりを歓迎し、安心して学校生活を送ることができるようにする。
4学期	【生活科のねらい】 19. 給食の準備や配膳を通して、食生活の大切さを学ぶ。	【生活科のねらい】 20. 学校生活の始まりを歓迎し、安心して学校生活を送ることができるようにする。	【生活科のねらい】 21. 給食の準備や配膳を通して、食生活の大切さを学ぶ。	【生活科のねらい】 22. 学校生活の始まりを歓迎し、安心して学校生活を送ることができるようにする。	【生活科のねらい】 23. 給食の準備や配膳を通して、食生活の大切さを学ぶ。	【生活科のねらい】 24. 学校生活の始まりを歓迎し、安心して学校生活を送ることができるようにする。

ここがポイント!

ポイント1「児童の輪を広げる」
入学後の週は、児童が毎朝、保育室、子ども園で学んできたことや、経験してきたことを生かすことができる内容を意識しています。
授業構成は、15分を一つのまとまりとした様々な活動を取り入れることで、児童の集中を継続し、45分間の授業に打ち取り組むことができるように工夫しています。
特に、一週目の最終日は最大決の日として意識しています。

ポイント2「目指す児童の姿をイメージする」
1ヶ月間のスタートカリキュラムが終わったときに目指す児童の姿を常にイメージしながら指導しています。
具体的には、週のねらいを、「自分」から「他者」「集団」になっていくように設定して、小学校での生活を楽しくスタートができるよう、授業を組み立てています。

ポイントとなる具体的な箇所
ポイント1とポイント2で色分けをしています。どこに注目すればよいか分かるようにしました。

1 福生第一小学校

【スタートカリキュラムで重視する点】

- 1 児童が安心して学校生活を楽しむことができる時間設定の工夫
- 2 幼児期に親しんできた経験を生かす活動や環境の設定
- 3 生活科を中心に児童が主体的に自己を発揮できる学習活動の展開

週指導計画

【今週のねらい】先生や友達にしっかりあいさつをする。学校の1日を理解する。

	4月7日	4月10日	4月11日	4月12日	4月13日	4月14日
朝の会	挨拶 健康観察 朝の歌 安全指導	全校朝会	挨拶 健康観察 朝の歌 尿検査	挨拶 健康観察 朝の歌	挨拶 健康観察 朝の歌	挨拶 健康観察 朝の歌
1校時	国生 おおなしたのいな 挨拶と返事 自分の名前 着席の仕方 ランドセルの置き方	国体 おおなしたのいな 体育着に着替えよう ○体育着の着替え方を覚える。 ○並び方を覚える。	国音 おおなしたのいな うたっておどってな かよくなるよう ○元気に歌う。	国国 おおなしたのいな いいてんき ○絵から見つけたこ とを話すことができ る。	国国 おおなしたのいな いいてんき ○絵の中の人物のみり きり、想像力を広げ ながら楽しく話 すことができる。	国国 おおなしたのいな あつまつてはなそう ○知らせたことや自分 が聞きたいことを集中 して聞くことができる。
2校時	生 きょうから1ねんせい トイレの使い方 手洗のしかた 靴箱の使い方 傘など雨具の置き 方	生 きょうから1ねんせい ○廊下歩行やチャイ ムなどの学校生活 のルールを知り、校 内めぐりをする。 全席調べ	生 わくわくどきどきし ようがっこう ○校庭を歩き、自分 のお気に入りの場所 を探したり、それを伝 えたりする。	算 くらべたことがある かな おおのいほど ちらかな ○数や量の関心・感 覚を想起して、算数 の学習への期待をも つ。	算 なかまづくりとかず ○集合の要素の個数 の多少を1対1対応の 方法で比べることが でき、数が同じ違 うなどの意味を理 解する。	算 なかまづくりとかず ○1～5について、具 体物、半具体物、数 詞、数字、数詞を交 互に関連付けること ができる。
3校時	学 安否を確認する 帰りの支度 帰りの注意 帰りのあいさつ	学 学習用具の出し入れ 学習用品調べ 帰りの支度	行 国 聴力検査 えんぴつとなかよし ○正しい鉛筆の持 ち方を知り、自分の 名前を書く。	国 えんぴつとなかよし 「いろいろな線をか こう」 ○正しく鉛筆を持 ち、なぞり書きを する。	体 ならびっこゲーム ○学校生活に必要 ないいろいろな並 び方を覚える。	道 ようこそ1ねんせい よりよい学校生活、 集団生活の充実 ○ 学校の人が親し みを持ち、学校 生活を楽しくする。
4校時	集団下校	集団下校	集団下校	集団下校	音 うたっておどってな かよくなるよう ○みんなで一緒に歌 って友達をつくる。	生 生 あ、あれ きょうから1ねん せい ○力を合わせて給 食の準備をしたり、 おいしく給食を 食べたりする。

【今週のねらい】学校のきまりを守って生活する。

	4月17日	4月18日	4月19日	4月20日	4月21日
朝の会	全校朝会 安全指導	挨拶 健康観察 朝の歌	挨拶 健康観察 朝の歌 避難訓練	挨拶 健康観察 朝の歌	挨拶 健康観察 朝の歌
1校時	音 1年生を迎える会の練習 ○1年生を迎える会に 向けて、入場歌の練習 をする。 視力検査	国 国 えんぴつとなかよし どうぞよろしく ○自己紹介に興味を もち、カードづくりを することができる。	国 学 えんぴつとなかよし ○避難訓練について理 解する。 行 避難訓練	国 国 えんぴつとなかよし どうぞよろしく ○挨拶、名前、好きな ものを、丁寧な言葉 で伝え合い、交流 することができる。	国 国 えんぴつとなかよし どうぞよろしく ○挨拶、名前、好きな ものを、丁寧な言葉 で伝え合い、交流 することができる。
2校時	国 国 えんぴつとなかよし どうぞよろしく ○挨拶、名前、好きな ものを、丁寧な言葉 で伝え合い、交流 することができる。	算 なかまづくりとかず ○数量の大きさを表 す「ろく」「じゅう」 の数詞と、「6」「10」 の数字が対応して いることを知り、数 えることができる。	道 じゅぎょうがはじま りますよ 節度、節制 ○時間を守ることの よさに気づき、きち んとした生活をし ようとする。	行 1年生を迎える会 ○上級生からのプレ ゼントをもらうこと で、入学の喜びを味 わうとともに、学校 の一員となることを 自覚できる。	生 わくわくどきどきし ようがっこう ○何をしているのか を考えたり、これら したいことを話したり する。
3校時	算 なかまづくりとかず ○5の構成を理解する。	図 クレヨンやパスとなか よし ○クレヨンやパスで いろいろな描き方 や塗り方を考え ながら、描くこと を楽しむことができ る。	体 ならびっこゲーム おこあそび ○簡単なルールのお こあそびを楽しむ ことができる。	体 ならびっこゲーム おこあそび ○簡単なルールのお こあそびを楽しむ ことができる。	音 うたっておどってな かよくなるよう ○みんなで遊んで 楽しく歌う。
4校時	生 生 わくわくどきどきし ようがっこう ○力を合わせて給食 の準備をしたり、 おいしく給食を 食べたりする。	図	音 生 1年生を迎える会 の練習 ○1年生を迎える会 に向けて、入場歌 の練習をする。	算 なかまづくりとかず ○6～10について、 具体物、半具体物、 数詞、数字、数詞を 相互に関連付ける ことができる。	算 なかまづくりとかず ○6の構成を理解する。

【今週のねらい】先生や友達の話をしっかり聞く。										
	4月24日		4月25日		4月26日		4月27日		4月28日	
朝の会	全校朝会		挨拶 健康観察 朝の歌		挨拶 健康観察 朝の歌		挨拶 健康観察 朝の歌		挨拶 健康観察 朝の歌	
1校時	国 国	えんぴつとかまよし なんい おうかな ○相手や場面に応じて挨拶などのやり取りをし、言葉の遣い気をつけて使うことができる。	図	消防生会 ○消防車や救急車をよく見て、楽しみながら描くことができる。	国 国	えんぴつとかまよし うたにあわせてあいえお ○姿勢や口形 リズムに気を付けて音読することができる。	国 国	えんぴつとかまよし こねだしてよもう ○諺に描かれた様子を想像しながら、音読することができる。	国 国	えんぴつとかまよし うたにあわせてあいえお ○姿勢や口形 リズムに気を付けて音読することができる。
2校時	音	はくをかみじとろう ○音節に合わせて体を動かす。	図		生	わくわくどきどきしょうがっこう ○先生や友達と一緒に校内を巡り、見付けたことや思ったことを伝える。	算	なまづくりとかず ○9の構成を理解する。	音	はくをかみじとろう ○音節に合わせて体を動かす。
3校時	算	なまづくりとかず ○7の構成を理解する。	算	なまづくりとかず ○8の構成を理解する。	国 国	えんぴつとかまよし こねだしてよもう ○諺に描かれた様子を想像しながら、音読ができる。	国 国	えんぴつとかまよし うたにあわせてあいえお ○姿勢や口形 リズムに気を付けて音読ができる。	算	なまづくりとかず ○10の構成を理解する。
4校時	生	わくわくどきどきしょうがっこう ○先生や友達と一緒に校内を巡り、見付けたことや思ったことを伝える。	国 国	えんぴつとかまよし うたにあわせてあいえお ○姿勢や口形 リズムに気を付けて音読することができる。	体	おこあそび ○簡単なルールのおこあそびを楽しむ。	行 音	内科検診 うたっておどってなかよくなる ○みんなで遊びながら、楽しく歌う。	生	わくわくどきどきしょうがっこう ○学校たんけんをむけて2年生との顔合わせを行う。

ここがポイント！

【今週のねらい】先生や友達の話をしっかり聞く。										
	5月1日		5月2日							
朝の会	全校朝会 安全指導		挨拶 健康観察 朝の歌							
1校時	国 国	えんぴつとかまよし こねだしてよもう ○諺に描かれた様子を想像しながら、音読することができる。	国 国	えんぴつとかまよし こんなのみつけたよ ○校内で見付けたものを思い出し、友達に伝えたい事柄を選ぶことができる。						
2校時	生	たねをまこう ○あさがおの種をまいて、水のあげ方を覚える。	国	ききたいな、ともだちのはなし ○友達の話に興味をもって聞き、感想を言うことができる。						
3校時	生		体	おこあそび ○簡単なルールのおこあそびを楽しむ。						
4校時	生	わくわくどきどきしょうがっこう ○2年生と一緒に学校たんけんをする。	算	なまづくりとかず ○10の構成について理解を確実にする。						

ポイント1「今までの頑張りを褒める」

入学直後は児童が緊張しているため、毎日声を掛けるようにしています。特に、園で頑張ってきたことも褒めるようにしています。

学習においては、児童が分かりやすい言葉を使うようにしています。

ポイント2「学校理解を深めるようにする」

スタートカリキュラムの後半になるにつれて、学校生活については児童がチャイムを意識して行動できるようにしています。

校内施設については、第2学年と一緒に探検するなどして、学校理解を深めるようにしています。

2 福生第二小学校

【スタートカリキュラムで重視する点】

- 1 「わかる」、「できる」という安心や自信につながる学習活動の展開
- 2 先生や友達と仲良くなれる内容
- 3 合科的・関連的な指導による生活科を中心とした学習

週指導計画

【今週のねらい】 小学校生活の一日の流れや学校にはどんな場所やどんなものがあるのかを知る。						
	4月7日	4月10日	4月11日	4月12日	4月13日	4月14日
朝の会	のんびりタイム 健康観察	のんびりタイム 健康観察・挨拶	のんびりタイム 健康観察・挨拶	のんびりタイム 健康観察・挨拶	のんびりタイム 健康観察・挨拶	のんびりタイム 健康観察・挨拶
1校時	学 挨拶・返事 朝の約束 (荷物の置き方など)	国書 おはなしたのしな ○教師の読み聞かせを聞く。 えんぴつとなかよし 正しい姿勢など	書行 えんぴつとなかよし 鉛筆の正しいもち方 線の練習 発育測定	生音 きょうから1ねんせい 廊下の歩き方や休み 時間の過ごし方 うたっておどろう ○友達と一緒に歌う。	国音 おはなしたのしな ○教師の読み聞かせを 聞く。 あつまってはなそう ○集中して聞く。	国音 えんぴつとなかよし ○ひらがなの学習のす ずめかたを知る。 うたっておどろう ○友達と一緒に踊る。
2校時	生 きょうから1ねんせい 鞆箱・トイレの使い方	生 わくわくどきどきし ょうがっこう ○校庭を散歩する。	国音 おはなしたのしな ○読み聞かせを聞く うたっておどろう。 ○元氣に歌う	道 ようこそ1ねんせい よりよい学校生活・集 団活動の充実	算 なかまづくりとかず ○数字の書く練習をす る。	行 交通安全教室 ○安全な下校の仕方につ て知る。
3校時	行生 1年生を迎える会の 練習 きょうから1ねんせい ○帰りの支度の仕方 を覚える。	行生 1年生を迎える会の 練習 きょうから1ねんせい ○帰りの支度の仕方 を覚える。	算 おおひのはどちらか な ○算数への学習への 期待をもつ。	生国 きょうから1ねんせい ○校庭の遊び方を知る。 いいてんき ○絵から見つけたこと を話す。	図 すきなものいっぱい ○好きなものを描くこ とを楽しむ。	生 きょうから1ねんせい ○給食の準備の仕方を知 る。
4校時	集団下校	集団下校	集団下校	算 なかまづくりとかず ○1～5について数字 等に関連付ける。	図 すきなものいっぱい ○好きなものを描くこ とを楽しむ。	体 ならんでみよう ○整列の仕方を知り、覚 える。

※のんびりタイム…自由帳・折り紙・絵本の読書など、自席での自由な活動を行う。

【今週のねらい】 友達と上手に関わることができる。(あいさつ・話し方・気持ちを合わせる掛け声など)

	4月17日	4月18日	4月19日	4月20日	4月21日
朝の会	1年生を迎える会	全校朝会 挨拶・健康観察	のんびりタイム 健康観察・挨拶	のんびりタイム 健康観察・挨拶	のんびりタイム 健康観察・挨拶
1校時	行 1年生を迎える会	書行 ひらがなの学習 聴力検査	書国 ひらがなの学習 いいてんき ○音読の仕方を知り、正 しく読む。	音国 こうかをうたおう ○校歌を覚える。 ○音読の仕方を知り、正 しく読む。	生国 わくわくどきどきしょうが っこう こんなものをみつけたよ ○校内を探検する。
2校時	国生 どうぞよろしく ○友達と名刺交換を するための名刺をつ くる。	体 こうていであそぼう ○校庭の固定施設で 遊ぶ。	生国 わくわくどきどきし ょうがっこう こんなものをみつけたよ ○学校で見つけたもの を友達に伝える。	算 なかまづくりとかず ○6～10の数字の書く練 習する。	算 なかまづくりとかず ○6～10の数について具体物 で関連付ける。
3校時	音 うたっておどってなか よくなる ○友達と一緒に歌い、音 楽に親しみをもつ。	算 なかまづくりとかず ○数量を数えて、数字を 書く。	道 じゅぎょうがはじまり ますよ 節度、節制	図 すきなものいっぱい ○友達作品を見合う。	国 こんなものみつけたよ ○生活科で見つけた学校や 校庭のお気に入り絵と文 で友達に伝える。
4校時	国生 なんていおうかな ○場面に応じた自分の 気持ちの伝え方を知る。 きょうから1ねんせい ○給食を食べる。	国生 どうぞよろしく ○友達と名刺交換をす る。 きょうから1ねんせい ○給食を食べる。	算生 なかまづくりとかず ○5はいくつといくつに 分けられるかを考える。 きょうから1ねんせい ○給食を食べる。	図生 すきなものいっぱい ○作品づくりの続き きょうから1ねんせい ○給食を食べる。	書生 ひらがな学習 きょうから1ねんせい ○給食を食べる。

【今週のねらい】 友達との関わりや、遊び・体験の要素を取り入れた 45 分間 1 教科の授業に慣れる。										
	4 月 24 日		4 月 25 日		4 月 26 日		4 月 27 日		4 月 28 日	
朝の会	のんびりタイム 健康観察・挨拶		のんびりタイム 健康観察・挨拶		健康観察・挨拶		児童集会		のんびりタイム 健康観察・挨拶	
1 校時	体	こういてあそぼう 二人組の運動	書 国	ひらがな学習 うたにあわせてあ いうえお ○音読を楽しむ。	道	あいさつ 礼儀	音	うたにあわせておど ろう ○外国の歌に合わせ て友達と体を動かし ながら歌う。	体	こういてあそぼう 二人組の運動
2 校時	書 国	ひらがな学習 こんなものみつけた よ ○友達の発表を聞く。	体	からだをうごかさう ○友達と関わり合い ながら運動する。	生	わくわくどきどきし ようがっこう ○校内を探検し、さら に気になった教室を 友達と話し合う。	算	なかまづくりとかず ○タイルを用いた活 動を通して、6はいく つといくつに分けら れるかを考える。	算	なかまづくりとかず ○タイルを用いた活 動を通して、7はいく つといくつに分けら れるかを考える。
3 校時	音	うたにあわせておど ろう ○外国の歌に合わせ て友達と体を動かし ながら歌う。	算	なかまづくりとかず ○6~10 の数字を書く 練習をする。	国	うたにあわせてあ いうえお ○文字を使って友達 と言葉集めをする。	図	ねんどとなかよし ○ねんどの使い方を 知る。	国	あさのおひさま ○場面の様子を捉え る。
4 校時	国 生	うたにあわせてあ いうえお ○正しい発音の仕方 を知る。 きょうから1ねんせ い ○給食を食べる。	生 生	きょうから1ねんせ い ○教室をクラスで協 力しながら綺麗にし る。 ○給食を食べる。	算 生	なかまづくりとかず ○6~10 の数について 具体物や数字、数図な ど相互に関連づける。 きょうから1ねんせ い ○給食を食べる。	図 生	ねんどとなかよし ○ねんどで好きなも のをつくる。 きょうから1ねんせ い ○給食を食べる。	書 生	ひらがな学習 きょうから1ねんせ い ○給食を食べる。

【今週のねらい】 学校での約束を守る。				
	5 月 1 日		5 月 2 日	
朝の会	のんびりタイム 健康観察・挨拶		全校朝会	
1 校時	体	はしってのしもう ○友達と走ったり、障 害物を走り越したりす る。	生	きょうから1ねんせ い ○教室掃除のやり方や 約束を知る。
2 校時	国	たのしいことばあそ び ○音節と文字の関りに 気付くことができる。	体	からだをうごかさう ○友達と関わり合いな がら運動する。
3 校時	音	はくをかみじとろう ○リズムや拍に興味関 心をもつ。	算 行	なかまづくりとかず ○9 の構成を理解す る。 聴力検査
4 校時	書 生	ひらがな学習 きょうから1ねんせ い ○給食を食べる。	図 書 生	としよかみひこう ○図書館の使い方・約 束を知る。 きょうから1ねんせ い ○給食を食べる。

ここがポイント！

ポイント1 「のんびりタイム」

保育園では9時から生活が始まっていた児童が多く、朝の会に気持ちを整える時間として、「のんびりタイム」を設けています。

絵を描いたり、折り紙で作品を作ったり、本を読んだり、自席で自由な活動ができるようにしています。

ポイント2 「学んでいたことを活用」

保育園で学んでいたことを把握して、授業に生かすようにしています。

例えば、園で歌っていた歌を音楽の授業の導入で流すことで、児童が集中して臨むことができます。他にも、数の概念や道具の使い方などを授業に生かすようにしています。

3 福生第三小学校

【スタートカリキュラムで重視する点】

- 1 子どもが安心して学校生活をスタートすることができる環境づくり
- 2 幼稚園、保育園との連携の中で得られた、幼児期からの学びと育ちを生かす活動の設定
- 3 生活科を中心に、体を使った活動や遊びを取り入れた学習活動の展開

週指導計画

【今週のねらい】 小学校の1日を知る。たくさんの友達とすすんで関わる。

	4月7日	4月10日	4月11日	4月12日	4月13日	4月14日
朝の会	なかよしタイム 「先生のお名前は」	1年生を迎える会	全校朝会	どきどきタイム 「道具箱の中には」	なかよしタイム 「楽しく歌おう」	どきどきタイム 「避難訓練」
1校時	国 どうぞよろしく ○自分の名前を友達にしっかり大きな声で教えることができる。	行 トイレと水飲み場の使い方、並び方 ○学校の設備について知ることができる。	体 体操着に着替えよう 鉛筆となかよし ○正しく鉛筆をもって、自分の名前を書くことができる。	生 わくわくどきどきしょうがっこう ○小学校のつくりや働く人々のことを知ることができる。	体 ならびっこゲーム ようこそ1ねんせい ○学校の人々に親しみをもち、学校生活を楽しむことができる。	国 えんぴつとなかよし こえにだしてよう ○互いに真似をしながら、楽しく読むことができる。
2校時	道 ようこそ1ねんせい 校内めぐり ○学校生活のルールを知り、守って生活しようとしている。	生 学校探検をしよう 鉛筆をもってみよう ○正しい鉛筆の持ち方を知り丁寧に文字を書くことができる。	凶 好きなものをかこう 校庭さんぽ ○好きなものを絵で描いて、友達に教えることができる。	行 一斉下校 ○一斉下校の意図や、流れを知り、安全な行動について考えることができる。	体 校庭はどのぐらい広いかな ○楽しく体を動かすことができる。	体 着替えチャレンジ ならびっこゲーム ○友達と言葉を掛け合いながら、いろいろな並び方ができる。
3校時	音 うたっておどってなかよくなる ○楽しく歌って体を動かすことができる。	書 いろいろな線をかこう ○運筆の仕方を知り、いろいろな線を書くことができる。	国 どうぞよろしく ○自分の名前を言って、カード交換ゲームに親しむことができる。	国 えんぴつとなかよし こえにだしてよう ○先生の真似をして、大きな声で音読できる。	字 おいしいきゅうしよく 給食の配膳の仕方を知り、当番活動などへの意欲をもつことができる。	算 くらべたことがあるかな ○幼児期に育った数量への関心、感覚を想起し算数の学習への期待をもつことができる。
4校時						

【今週のねらい】 学習や生活のきまりを知る。

	4月17日	4月18日	4月19日	4月20日	4月21日
朝の会	どきどきタイム 「自分でおたく」	なかよしタイム 「友達ジャンケン」	どきどきタイム 「本となかよし」	どきどきタイム 「名刺をつくらう」	なかよしタイム 「名刺交換しよう」
1校時	国 ①としよかにいこう ②おはなしたのしいな ○学校の施設の使い方を知り、読書に親しむことができる。	国 ひらがなをかこう あつまってはなそう ○自分が話したいことを決めて、すすんで話すことができる。	国 ひらがなをかこう なんていおうかな ○絵を見ながら、状況に合う話し方や内容を考えることができる。	国 ひらがなをかこう いろいろな言葉と普通の言葉との違いに気を付けて話すことができる。	国 ひらがなをかこう こんなものみつけたよ ○体験したことから話題を決めて、必要なことを集めることができる。
2校時	道 ひらがなをかこう じゅぎょうがはじまりますよ ○時間を守ることのよさに気付き、学校生活への意欲をもつことができる。	体 ならびっこゲーム 自由に体を動かそう ○幼児期に経験した運動遊びに親しむことができる。	行 名前唄にならぼう 保健室で計測をしよう ○教室移動のときのルールを知り、正しく行動しようとする気持ちをもつことができる。	体 いろいろな運動遊びをたのしもう ○簡単なルールの運動遊びに親しむことができる。	算 なかまづくりとかず ○数量の大きさを表す数詞と数字が対応していることを知り、1～5のものの数を数えることができる。
3校時	音 うたっておどってなかよし ○挿絵に出てくる歌を想起しながら歌ったり、自由に体を動かしたりすることができる。	生 わくわくどきどきしょうがっこう ○学校の施設に興味をもって調べたり、絵で描いたりすることができる。	算 なかまづくりとかず ○挿絵を手がかりに、様々な数に興味をもち、教えたり、比べたりすることができる。	生 きせつとなかよし ○自然物と触れ合った経験から、季節の特徴に気付き、積極的に関わろうとする意欲をもつことができる。	図 好きなものいっぱい ○自分の好きなものを、クレパスを使ってたくさん描き、友達と交流することができる。
4校時	字 おいしいきゅうしよく ○力を合わせて準備をしたり、楽しんで食事をしたりすることができる。	字 おいしいきゅうしよく ○小学校の給食の量や献立を知り、食事を楽しむことができる。	字 おいしいきゅうしよく ○自分が食べられる量を考えながら食事することができる。	字 おいしいきゅうしよく ○楽しんで給食の時間をすごすことができる。	字 おいしいきゅうしよく ○食器の大きさや種類に注目して、配膳や食事をすることができる。
5校時		図 ねんどとなかよし ○自分の手を使い、粘土で様々な形を作る技を見付けることができる。			

【今週のねらい】 たくさんの「できた」を感じる。										
	4月24日		4月25日		4月26日		4月27日		4月28日	
朝の会	どきどきタイム 「しりとりゲーム」		全校集会		どきどきタイム 「本となかよし」		なかよしタイム 「教室たんけん」		どきどきタイム 「おりがみ大好き」	
1校時	国	ひらがなをかこう うたにあわせてあい うえお ○姿勢や口形、発声や 発音に注意して話す ことができる。	国	ひらがなをかこう うたにあわせてあい うえお ○言葉遊びを通して、 様々な言葉に触れる ことができる。	国	ひらがなをかこう こんなものみつけた よ ○紹介したい事柄に ついて、分かりやすく 紹介することができる。	国	ひらがなをかこう あさのおひさま ○挿絵や言葉を手が かりに、様子や登場人 物の行動など、内容の 大体を捉えることが できる。	国	ひらがなをかこう あさのおひさま ○語のまとまりや言 葉の響きなどを楽し みながら音読するこ とができる。
2校時	算	なかまつくりとかず ○1～5の数について 、具体物、数図、数 詞、数字などを相互に 関連づけることがで きる。	体	かけっこあそび ○いろいろなコース や走り方を使ったか けっこあそびを楽し むことができる。	算	なかまつくりとかず ○数量の大きさ6～ 10の数詞と数字が対 応していることが分 かる。	体	いろいろな運動遊び ○簡単なルールの運 動遊びに意欲的に取 り組むことができる。	生	わくわくどきどきし ようがっこう ○学校の安全を守る 設備や施設を調べ、安 全な学校生活について 考えることができる。
3校時	音	うたってなかよし ○挿絵の中から知っ ている歌を探したり 生き物になりきって 体を動かしたりして 楽しむことができる。	生	きせつとなかよし ○春の自然にすすん で関わり、自然の中 で遊ぶことを楽しむ ことができる。	生	きせつとなかよし ○観察の仕方やポイ ントを知り、花の観察 記録カードを描くこ とができる。	算	なかまつくりとかず ○6～10の数につい て、具体物、数図、数 詞、数字を相互に関 連づけることができる。	図	自分の顔をかこう ○自分の顔を楽しん で描き、しっかり色を 塗るためのクレパス の使い方を知ること ができる。
4校時	生	わくわくどきどきし ようがっこう ○校内の安全を守る 設備を探し、その役割 を考えることができる。	国	こんなものみつけた よ ○校内を見て回った 経験から、課題を決 めて伝え合うための 事柄を選ぶことが できる。	行道	健康診断 あいさつ ○基本的な挨拶の仕 方を練習し、すすん で挨拶をしようとし る気持ちをもつこと ができる。	音	うたってなかよし ○好きな歌を見付け て、友達と一緒に歌 って楽しむことが できる。	学	自分の仕事を決めよ うがっこう ○係の仕事について 知り、クラスのため に頑張ろうという気 持ちをもつことが できる。
5校時	体	いろいろな運動遊び ○簡単なルールの運 動遊びで、友達と協 力して取り組むこと ができる。	算	なかまつくりとかず ○おはじきを使った ゲームを通して、5 の構成を考えること ができる。	図書	としよかんべいご う ○興味ある本を借 りたり、読み聞かせを 聞いたり、本に親し むことができる。				

ここがポイント！

【今週のねらい】 友達と協力して生活する。										
	5月1日		5月2日							
朝の会	どきどきタイム 「数をとなえよう」		なかよしタイム 「カードを集める」							
1校時	国	ひらがなをかこう ききたいな、ともだ ちのはなし ○友達の話に興味を もって聞いたり、自 分の知らせたいこと を考えたりできる。	生	2年生と学校施設 ○2年生から学校の 施設の利用やマナー について教えてもら い、よりよい学校生 活について考えるこ とができる。						
2校時	算	なかまつくりとかず	体	かけっこあそび ○まっすぐゴールを 目指して走り抜ける ことができる。						
3校時	音	いっしょにおどろっ ○歌に合わせて踊っ たり、手足を使った 様々なリズム遊びを 楽しんだりすること ができる。	国	ひらがな ききたいな、ともだ ちのはなし ○伝えたい事柄を相 手に応じて声の大き さや速さを工夫して 話すことができる。						
4校時	図	自分マークをつくら う ○自分だけのマーク を作り、友達と交流 して楽しむことが できる。	算	なかまつくりとかず ○数ブロックを使 ったゲームを通して、 7の構成を考えるこ とができる。						
5校時			生	わくわくどきどきし ようがっこう ○学校の施設の特徴 や役割、働く人々の 存在をクイズ形式で 振り返ることができる。						

ポイント1 「児童の経験を生かす」

入学直後の週は、児童が園で学んできたことや、経験してきたことを生かすことができる内容を意識しています。

授業構成は、15分を一つのまとまりとした様々な活動を取り入れることで、児童が集中を持続し、45分間の授業に取り組むことができるように工夫しています。

特に、一週目の最終日は集大成の日として意識しています。

ポイント2 「目指す児童の姿をイメージする」

1ヶ月間のスタートカリキュラムが終わったときに目指す児童の姿を常にイメージしながら指導しています。

具体的には、週のねらいを、「自分」から「他者」・「集団」になっていくように設定して、小学校での生活を無理なくスタートができるよう、授業を組み立てています。

4 福生第四小学校

【スタートカリキュラムで重視する点】

- 1 基本的な生活習慣、話を聞く姿勢や態度を育成する学習活動
- 2 挑戦したり努力したりし、頑張ろうとすることができる活動の設定
- 3 学校生活を安全に送る決まりが分かり、自らや他者を大切にすることの育成

週指導計画

【今週のねらい】先生や友達にしっかりあいさつをする。						
	4月7日	4月10日	4月11日	4月12日	4月13日	4月14日
朝の会	挨拶・健康観察 先生の話聞く	挨拶・健康観察 先生の話聞く	挨拶・健康観察 先生の話聞く	挨拶・健康観察 先生の話聞く	挨拶・健康観察 先生の話聞く	挨拶・健康観察 避難訓練
1校時	生 学校の生活を知ら う 持ち物のしまい方 道具箱の使い方 お便りのしまい方	生 気持ちの良い挨拶 や返事をしよう 挨拶や返事の仕方 トイレや水道の使 い方	生 校庭を散歩しよう 遊具の使い方の確認 楽しく歌おう 歌の練習	★1年生を迎える会	字 今週の予定 困ったことはないか な うたっておどろう	国 いいてんき ○絵から見つけたこ とを話す。
2校時	国 なかよくなるよう ○先生となかよくなる。 ○挨拶と返事の仕 方を覚える。	体 体育着に着替える 体育の着替え練習 並び方練習	国 お話しききたいな 地震や火事が起き たら 避難時の行動	国 なんていおうかな 挨拶の仕方 ○避難経路を歩く。	国 かくことたのしいな	学 安全にすごそう 避難訓練 避難訓練事後指導
3校時	音 楽しく歌おう 安全指導 下校の仕方 下校の準備	音 楽しく歌おう 歌の練習 ○安全に帰ろう。	国 名前を書こう 正しい姿勢 鉛筆の持ち方	算 くらべたことがある かな ○数や量への感心、 意欲をもつ。	算 なかまづくりとかず	算 仲間作りと数 1から5の数詞と数 字
4校時	集団下校	集団下校	集団下校	学 楽しく過ごそう 金曜日の持ち物確 認 来週の予定	体 並び方を練習しよう	学 給食オリエンテーシ ョン

【今週のねらい】学習態度を身に付ける。						
	4月17日	4月18日	4月19日	4月20日	4月21日	
朝の会	全校朝会	挨拶・健康観察 先生の話聞く	挨拶・健康観察 内科検診	挨拶・健康観察	挨拶・健康観察	
1校時	学 学び方スタンダード ふっさっこスタンダード 運筆	音 うたっておどって ○歌ったり曲に合わせて 踊ったりして楽しむ。	生 学校を歩こう ○校内を歩いて見た物 を伝える。	国 えんぴつとなかよし 運筆練習	生 学校の中の生活 ○学校の中の決まりや困り 事を話し合い、解決する。	
2校時	国 いいてんき ○挿絵を見て想像する。	算 仲間作りと数 ○1から5の数について 具体物や半具体物、数 詞を関連付ける。	算 なかまづくりとかず ○5の構成を理解する。	算 なかまづくりとかず 6から10の数	国 お話たのしいな ○読み聞かせを聞く。 感想を話す。	
3校時	体 校庭で動こう ○校庭の遊具で遊ぶ。	道 ようこそ、一年生 よりよい学校生活、集団 生活の充実	体 体づくり運動 体ほぐしの運動遊び	体 体づくり運動 体ほぐしの運動遊び	音 うたっておどって ○歌ったり曲に合わせて踊 ったりして楽しむ。	
4校時	生 給食の準備をしよう 机の整え方や配膳の仕 方	国 ひらがなを練習しよう 読み聞かせ	学 楽しく過ごそう 持ち物確認 来週の予定	国 こんなのみつけたよ ○学校探検の物を紹介 し、絵を描く。	国 学校探検で見つけた物を絵 に描き発表する。	

【今週のねらい】 たくさんの「できた」を感じる。										
	4月24日		4月25日		4月26日		4月27日		4月28日	
朝の会	全校集会 挨拶・健康観察		挨拶・健康観察		挨拶・健康観察		挨拶・健康観察		挨拶・健康観察	
1校時	国	えんぴつとなかよし 運筆練習 ひらがな	国	えんぴつとなかよし 運筆練習 ひらがな	国	どうぞよろしく ○友達を増やすために自己紹介をし合うやり方を知る。	国	どうぞよろしく ○名前カードを作る。	国	どうぞよろしく ○名前カードを使って交流する。
2校時	算	なかまづくりとかかず 6から10の数	算	なかまづくりとかかず ○6の構成を理解する。	算	なかまづくりとかかず ○7の構成を理解する。	体	体づくり運動 ○校庭の遊具で遊ぶ。	生	近くの公園に行こう 道路の安全な歩き方
3校時	音	うたっておどって ○歌ったり曲に合わせて踊ったりして楽しむ。	体	体づくり運動 体ほぐしの運動遊び	生	通学路を歩こう ○学校の周りにあったものを絵に描く。	国	おはなしたのいいな 読み聞かせ ○感想を伝え合う。	生	近くの公園に行ってみよう ○友達と仲良く遊ぶ。
4校時	国	お話したのいいな 読み聞かせ ○感想を伝え合う。	生	通学路を歩こう ○学校の周りを一周して見た物を伝え合う。	国	なんていおうかな ○生活の様々な場面のふさわしい言葉を実践する。	生	近くの公園に行ってみよう ○春の物を知る。	生	きせつとなかよし ○公園で見付けたことを話し合う。

ここがポイント！

【今週のねらい】 友達と協力して生活する。				
	5月1日		5月2日	
朝の会	挨拶・健康観察 先生の話聞く		挨拶・健康観察 先生の話聞く	
1校時	図	消防写生会	生	学校の中の生活 ○学校の周りを一周したりや困り事を話す。
2校時	図	消防写生会	国	ひらがな ひらがなの練習
3校時	図	消防写生会	算	なかまづくりとかかず ○5から7までの構成を理解する。
4校時	学	学校行事について 5月の行事の見通し はっぴいたいむ	体	表現リズム遊び ○音楽に乗って全身を使ってリズム遊びをする。

ポイント1 「実態を踏まえた工夫」

園を訪問した時には、幼保小連携担当の方だけではなく、多くの方と情報交換するようにしています。幼児の実態や、園で経験していることを把握し、授業づくりに生かしています。

ポイント2 「スモールステップの声掛け」

入学直後は、児童一人一人が教師の話分かっているかどうか、確認しながら指導するようにしています。

また、授業時間も、最初は15分間のまとまりとして、徐々に長くしています。集中できる時間が長くなることで、授業中、椅子に座ることができるようにしています。

5 福生第五小学校

【スタートカリキュラムで重視する点】

- 1 一人一人が安心感をもち、学校生活を送ることができる環境づくり
- 2 幼児期からの学びと育ちを生かす活動の設定
- 3 合科的・関連的な指導による生活科を中心とした学習活動の展開

週指導計画

【今週のねらい】先生や友達にしっかりあいさつをする。						
	4月7日	4月10日	4月11日	4月12日	4月13日	4月14日
朝の会	挨拶・健康観察	全校朝会	挨拶・健康観察	挨拶・健康観察	1年生を迎える会	挨拶・健康観察
1校時	生 きもちのよいせい かつ ○気持ちの良いト イレと水道の使い 方を学ぶ。	学 なかよくなるう ○これから生活を 共にする仲間と親 睦を深める。	国 えんぴつとなかよ し ○なぞり書きをす る。	国 いてんき ○教科書の開き方、 発言の仕方を学ぶ。	国 おはなしたのしいな ○読み聞かせを聞き、 本に親しむ。	図 たのしくかこう つ くろう ○クレヨンを用いて 絵を描く。
2校時	行 避難訓練 生 避難訓練事前事後 指導	行 発育測定 生 たたんでしまおう ○体育着をたたん でしまう。	体 ならんでみよう ○整列の仕方を練 習する。	国 としょつへいこ う ○図書室の使い方 を知る。	生 わくわくがいっぱい ○食器を使用し、給食 の配膳練習をする。	図 たのしくかこう つ くろう ○はさみを用いて画 用紙を切り、形を作 る。
3校時	学 きをつけてかえろ う ○帰りの用意の仕 方、安全な下校の仕 方を知る。	道 ようこそ1ねんせい よりよい学校生活、 集団生活の充実	学 「おどろくばこ」に はね ○整理整頓の仕 方を学ぶ。	生 れんしゅうをしよ う ○1年生を迎える 会について知り、気 持ちの良い挨拶を 練習する。	生 わくわくどきどきし ょうがっこう ○校庭のお気に入り の場所を見付ける。	国 えんぴつをただしく もとう ○正しい鉛筆の持 ち方を練習する。
4校時	集団下校	集団下校	集団下校	集団下校	算 なかまづくりとかず ○数を理解する。	生 わくわくがいっぱい きょうから1ねんせい ○給食を食べる。

【今週のねらい】学校での過ごし方を知る。					
	4月17日	4月18日	4月19日	4月20日	4月21日
朝の会	全校朝会	挨拶・健康観察	挨拶・健康観察	集会	集会
1校時	図 働く消防写真会 ○消防車を描く。	算 なかまづくりとかず ○数を理解する。	体 ちからいっぱいはいし ろう ○50メートル走を 計測する。	音 はじめてのおんがく ○音楽室へ行き、友 達と一緒に遊び歌に 親しむ。	国 おはなしたのしいな ○読み聞かせを聞き、本 に親しむ。
2校時	図 働く消防写真会 ○消防車を描く。	行 交通安全教室 ○学校周辺の道路を 安全に気を付けて歩 く。	算 なかまづくりとかず ○1～5について数字 等を関連付ける。	国 うたにあわせてあい うえお ○楽しく音読する。	生 はるをかんじょう ○見付けた春を友達に 発表する。
3校時	体 たいいくかんへいこ う ○並んだり、走った りする。	行 視力検査 図 消防車の絵を描こう ○前日の絵の続きを 描く。	行 聴力検査 国 どうぞよろしく ○名前カードを用い て、友達と交流する。	算 なかまづくりとかず ○1～5についての 数字等を関連付け る。 行 歯科検診	図 たのしくかこう つ くろう ○画用紙を切ったり貼 ったりする。
4校時	生 はじめてのきょうし よく ○給食を食べる。	国 うたにあわせてあい うえお ○楽しく音読する。	国 どうぞよろしく ○名前カードを用い て、友達と交流する。	生 はるをかんじょう ○校庭で、生き物や 植物を見付ける。	図 たのしくかこう つ くろう ○画用紙を切ったり貼 ったりする。

【今週のねらい】 たくさんの「できた」を感じる。										
	4月24日		4月25日		4月26日		4月27日		4月28日	
朝の会	全校朝会		挨拶・健康観察		挨拶・健康観察		挨拶・健康観察		挨拶・健康観察	
1校時	行	運動会練習 ○ダンスの練習をする。	算	なかまづくりとかず ○5の構成を理解する。	体	運動会練習 ○ダンスの練習をする。	生 行	とりをみつげよう ○1年生のめあての鳥を知る。 眼科検診	体	運動会練習 ○ダンスの練習をする。
2校時	行	運動会練習 ○ダンスの練習をする。	行	交通安全教室 ○道路の正しい歩き方横断の仕方を学ぶ。	体	運動会練習 ○ダンスの練習をする。	国	ていねいにかこう ○とめ、はね、はらいを意識して、平仮名を書く。	体	運動会練習 ○ダンスの練習をする。
3校時	国	うたにあわせてあい うえお ○楽しく音読する。	音	うたっておどってな かよくなるう ○体を使いながら、いろいろな歌を歌う。	算	なかまづくりとかず ○6～10についての数字等を関連付ける。	算	なかまづくりとかず ○6～10についての数字等を関連付ける。	国	ききたいな、ともだちのはなし ○友達の好きな遊びを聞く。
4校時	国	おはなしたのしいな ○図書室で本に親しむ。	道	じゅぎょうがはじま りますよ 節度、節制	国	あさのおひさま ○様子を思い浮かべながら、音読する。	国	あさのおひさま ○様子を思い浮かべながら、音読する。	図	たのしくかこう つくろう ○ストローネックレスを作る。

【今週のねらい】 最後まで頑張り通す。				
	5月1日		5月2日	
朝の会	全校朝会		挨拶・健康観察	
1校時	行	運動会練習 ○玉入れの練習をする。	算	なかまづくりとかず ○7の構成理解する。
2校時	行	運動会練習 ○徒競走の練習をする。	行 国	遊樂訓練 「え」「お」で始まる言葉を集める。
3校時	算	なかまづくりとかず ○6の構成を理解する。	国	おはなしたのしいな ○図書室で本を返したり、借りたりする。
4校時	国	たのしいな ことばあそび ○「あ」「い」「う」で始まる言葉を集める。	音	うたっておどってな かよくなるう ○体を使いながら、いろいろな歌を歌う。

ここがポイント！

ポイント1 「1日一つ以上楽しいことをする」

朝の会で、絵本の読み聞かせや、手遊びなどを行っています。本や手遊びの種類は、園と情報交換したことを基に決めており、国語や音楽の授業にも生かすようにしています。

ポイント2 「愛鳥校の取組を生かす」

本校は長年、愛鳥校としての活動に取り組んでおり、教室表示は鳥の形をしているなど、様々な場面で鳥と関わる機会があります。

学校探検で校内の鳥を探したり、鳥の資料を用いてひらがな探しをしたりと、鳥と関連させることで、児童が学校のことを知ることができるようになっています。

6 福生第六小学校

【スタートカリキュラムで重視する点】

- 1 粘り強く活動に取り組むことのできる活動の設定
- 2 友達と自ら関わり、協力し合う子どもの育成
- 3 生活科を中心とした創造性を育成する学習活動

週指導計画

【今週のねらい】先生や友達にしっかり挨拶をする。						
	4月7日	4月10日	4月11日	4月12日	4月13日	4月14日
朝の会	仲よしタイム 挨拶・健康観察	仲よしタイム 挨拶・健康観察	仲よしタイム 挨拶・健康観察	仲よしタイム 挨拶・健康観察	仲よしタイム 挨拶・健康観察	仲よしタイム 挨拶・健康観察
1校時	国 生 生 仲よくなりたいな ○歌を歌う。 探検隊になろう ○職員室や保健室 の場所を知る。	国 生 生 仲よくなりたいな ○歌を歌う。 学校について知ろう ○水道やトイレな どの施設の使い方を 確認する。	学 国 国 わくわくするね。 アイスブレイク 絵本読み	音 生 生 仲よくなりたいな ○歌を歌う。 学校について知ろう ○水道やトイレな どの施設の使い方を 確認する。	学 国 国 わくわくするね。 アイスブレイク 絵本読み	学 国 国 わくわくするね。 アイスブレイク 絵本読み
2校時	生 生 行 発育測定 ○普段着から体育 着に素早く着替 える。	国 国 行 友達を知ろう ○友達と自己紹介 したり、一緒に仲よ く遊んだりする。 避難訓練 ○見学し、避難訓練 の様子を知る。	国 国 国 鉛筆と仲よし ○鉛筆の正しい持 ち方を知る。 初めての名前書き	国 国 行 友達を知ろう ○友達と自己紹介 したり、一緒に仲よ く遊んだりする。	国 国 国 どうぞ よろしく ○友達と自己紹介を し合い、好きなもの を伝え合う。	音 音 音 歌って踊って仲よ くなろう ○絵を見て、知っ ている歌を楽しく歌 う。
3校時	生 生 生 安全に帰ろう 下校の準備 ○下校班になり、安 全に帰る。	生 生 生 安全に帰ろう 下校の準備 ○下校班になり、安 全に帰る。	生 生 生 校庭を探検しよう ○校庭にある遊具 でルールを守りな がら遊ぶ。	生 生 生 安全に帰ろう 下校の準備 ○下校班になり、安 全に帰る。	図 図 図 好きなものいっぱい ○好きなものをたく さん絵で表す。	体 体 体 体づくり運動 ○友達と体を動か すことが楽しいこと に気付く。
4校時	集 団 下 校	集 団 下 校	生 生 生 安全に帰ろう 下校の準備 ○下校班になり、安 全に帰る。	集 団 下 校	生 生 生 安全に帰ろう 下校の準備 ○下校班になり、安 全に帰る。	学 生 生 ○体育着から普段 着に素早く着替 える。 ○学校での生活の流 れを確認し、給食当 番を行う。

【今週のねらい】学校の決まりを知る。					
	4月17日	4月18日	4月19日	4月20日	4月21日
朝の会	仲よしタイム 挨拶・健康観察	仲よしタイム 挨拶・健康観察	仲よしタイム 挨拶・健康観察	仲よしタイム 挨拶・健康観察	仲よしタイム 挨拶・健康観察
1校時	国 国 国 わくわくするね 絵本読み なんていうかな。 ○挨拶の仕方 を考える。	国 音 音 絵本読み 歌って踊って仲よ くなろう ○絵を見て、知っ ている歌を楽しく歌 う。 ○校歌を歌う。	学 国 国 わくわくするね。 アイスブレイク 絵本読み	国 音 音 絵本読み 歌って踊って仲よ くなろう ○絵を見て、知っ ている歌を楽しく歌 う。 ○校歌を歌う。	国 国 国 「じぶんマーク」 でみんな 友達 ○自分だけのマ ークを紹介し合 って、友達との交 流を楽しむ。
2校時	生 生 生 ようこそ、一年 生 ○学校の人々に親 しみをもち、学校 生活を楽しくも うとする。	体 体 体 体づくり運動 ○友達と体と動 かすことが楽し いことに気付く。	生 生 生 探検隊になろう ○学校探検をして 、校内にはきまり 等があることに 気付く、適切に 関わられるよう にする。	生 生 生 こんなもの 見 つけたよ ○学校探検で見 つけたものを発 表する。	国 国 国 聞きたいな 友 達の話 ○友達の話を開 いて、それをさ らに他の友達に 伝える。
3校時	生 生 図 こんなもの 見 つけたよ ○学校探検をして 、見つけたものを 絵で表す。	算 算 算 仲間づくりと 数 1対1対応による 、集合の要素の個 数の多少や相等 の比較	算 算 算 多いのは どちら かな 幼児期に育った 数や量への関心 感覚の想起	算 算 算 仲間づくりと 数 1～5個のもの の数を数えること と数字の書き方	算 算 算 仲間づくりと 数 ○1～5の数につ いて、具体物、本 具、数字、数詞を 相互に関連付け る。
4校時	生 生 生 ○学校での生活 の流れを確認し 、給食当番を行 う。	国 国 生 集まって 話 そう ○好きな動物につ いて、友達と話し 合う。 ○学校生活の流れ を確認し給食当 番を行う。	学 生 生 学校の一日 ○学校生活の流れ を知る。 ○給食の準備の 仕方を 知る。	国 国 生 歌に合わせて あ いうえお 平仮名 ○学校生活の流れ を確認し給食当 番を行う。	国 国 生 楽しいな、言葉 遊び 平仮名 ○学校生活の流れ を確認し、給食当 番を行う。

【今週のねらい】先生や友達にしっかり挨拶をする。										
	4月24日		4月25日		4月26日		4月27日		4月28日	
朝の会	仲よしタイム 挨拶・健康観察		仲よしタイム 挨拶・健康観察		仲よしタイム 挨拶・健康観察		仲よしタイム 挨拶・健康観察		仲よしタイム 挨拶・健康観察	
1校時	国 国 国	聞きたいな 友達の 話 ○友達の話聞いて、それをさらに他の友達に伝える。	国 音 音	絵本読み 歌って踊って仲よくなる ○絵を見て、知っている歌を楽しく歌う。 ○校歌を歌う。	国 音 音	絵本読み 歌って踊って仲よくなる ○絵を見て、知っている歌を楽しく歌う。 ○校歌を歌う。	生 生 生	季節と仲よし はるなつ ○春の自然を諸感覚を使って観察したり、自然物を使って遊んだりする。	生 生 生	学校探検 ○2年生に案内してもらった所で、もっと知りたいことや、やってみたいことを伝え合う。
2校時	体 体 体	固定施設遊び ○校庭の固定施設を使って、遊ぶ。	体 体 体	体づくり運動 ○友達と体を動かすことが楽しいことに気付く。	国 国 国	「じぶんマーク」でみんな友達 ○自分だけのマークを紹介し合って、友達との交流を楽しむ。	生 生 生	自然と仲よし ○草や石などの自然の材料で活動することを楽しむ。	体 体 体	固定施設遊び ○校庭の固定施設を使って、遊ぶ。
3校時	算 算 算	仲間づくりと 数 半具体物の操作による5の構成	算 算 算	仲間づくりと 数 ○6～10個のものの数を数えることと数字の書き方	生 生 生	学校を探検しよう ○みんなで学校探検をして、校内には様々な先生や人々がいることに気付く。	算 算 算	仲間づくりと 数 ○6～10の数について、具体物、本具体物、数図、数字、数詞を相互に関連付ける。	算 算 算	仲間づくりと 数 半具体物の操作による6の構成
4校時	国 国 生	楽しいな、言葉遊び 平仮名 ○学校での生活の流れを確認し、給食当番を行う。	国 国 生	はなのみち 平仮名 ○学校での生活の流れを確認し、給食当番を行う。	国 国 生	歌に合わせて あいうえお 平仮名 ○学校での生活の流れを確認し、給食当番を行う。	国 国 生	はなのみち 平仮名 ○学校での生活の流れを確認し、給食当番を行う。	国 国 生	はなのみち 平仮名 ○学校での生活の流れを確認し、給食当番を行う。

【今週のねらい】友達と協力して生活する。				
	5月1日		5月2日	
朝の会	仲よしタイム 挨拶・健康観察		仲よしタイム 挨拶・健康観察	
1校時	国 音 音	絵本読み 歌って踊って仲よくなる ○校歌を歌う。 名前選び	生 生 生	季節と仲よし はるなつ ○春の自然を諸感覚を使って観察したり、自然物を使って遊んだりする。
2校時	道 道 道	挨拶 ○基本的な挨拶の仕方を具体的に理解し、身近な人々にいつも明るく接しようとする。	生 生 生	自然と仲よし ○草や石などの自然の材料で活動することを楽しむ。
3校時	算 算 算	仲間づくりと 数 半具体物の操作による7の構成	算 算 算	仲間づくりと 数 ○6～10の数について、具体物、本具体物、数図、数字、数詞を相互に関連付ける。
4校時	国 国 生	はなのみち 平仮名 ○学校での生活の流れを確認し、給食当番を行う。	国 国 生	はなのみち 平仮名 ○学校での生活の流れを確認し、給食当番を行う。

ここがポイント！

ポイント1 「児童の経験を生かす」

歌や手遊び、音楽に合わせて体を動かすなど、児童の経験を生かして行っています。朝の会では毎朝歌い、児童の心をほぐして一日が始まるようにしています。

ポイント2 「静と動のメリハリを付ける」

例えば、国語科と生活科を併せた授業では、前半30分間を「書く活動」にして、静かな時間にします。後半15分間を「体を動かす活動」にして、集中が続くようにしています。

7 福生第七小学校

【スタートカリキュラムで重視する点】

- 1 子どもが安心して学校生活を送ることができる環境づくり
- 2 幼児期からの学びと育ちを生かす活動の設定
- 3 生活科を中心とした子ども主体の学習活動の展開

週指導計画

【今週のねらい】 小学校生活に期待を膨らませ、挨拶や登下校などの学校生活を経験する。

	4月7日	4月10日	4月11日	4月12日	4月13日	4月14日
朝の会	七小タイム	七小タイム	七小タイム	七小タイム	七小タイム	七小タイム
1校時	学 学 音 挨拶・朝の支度・良い返事の仕方を知る。名前を呼ばれたら元気よく返事をする。じゃんけん列車をする。	学 学 音 挨拶・朝の支度の仕方を知る。名前を呼ばれたら元気よく返事をする。じゃんけん列車をする。	学 国 名前を呼ばれたら元気よく返事をする。はじめての名前鉛筆の持ち方	学 国 挨拶 ○みんなでゲームをする。朝の時間の約束を確認する。ひらがなの書き方「へ」の書き方	国 算 挨拶 ○話の読み聞かせを聞く。なかまづくりとかげいろいろなかぎをかぞえてみよう。	国 学 国 挨拶 話の聞き方お話ししよう みんなでゲームをする。話の読み聞かせを聞く。
2校時	生 生 生 わくわくがっこうたんけん トイレ・水飲み場探検 廊下・階段探検	体 体 体育着の着替え方・しまい方について知る。体まぐしの運動	生 生 わくわくがっこうたんけん ○1階を歩く。見付けたことなどを発表する。	生 生 体 あれ、わくわくがいつぱい ○園でやってきたことを振り返る。着替えの仕方について	生 国 わくわくがっこうたんけん ○1階を歩き、見付けたことなどを発表する。	国 学 ひらがなの書き方「し」の書き方
3校時	国 学 いいてんき ○挿絵から想像して発表する。音読する。手の挙がり、発言の仕方を知る。帰りの支度について知る。	生 生 生 わくわくがっこうたんけん 廊下、階段、靴箱探検 ○知りたいことを出し合う。下校の仕方を知る。	国 学 ひらがなの書き方 ○「く」の書き方	体 学 遊具で遊ぶ ○安全に遊具で遊ぶ方法を確認する。着替えの仕方について知る。下校の確認	国 学 ひらがなの書き方 「へ」の書き方 校庭の遊び方	学 音 給食当番の仕事を知る。○給食準備の仕方を知る。じゃんけん列車を歌う。
4校時						学 給食の準備をしてみよう。

【今週のねらい】 保育園・幼稚園等で学んだことを思い出しながら、学校内の施設やルールについて知り、身に付ける。

	4月17日	4月18日	4月19日	4月20日	4月21日
朝の会	七小タイム	七小タイム	七小タイム	七小タイム	七小タイム
1校時	国 学 国 挨拶 話の聞き方・お話ししよう ○みんなでゲームをする。話の読み聞かせを聞く。	学 国 自分たちで決めた遊びをする。ひらがなの書き方「つ」の書き方	国 学 どうぞよろしく ○挿絵を見て、やり取りを考えて実践する。ひらがなの書き方「や」の書き方	学 算 自分たちで決めた遊びをする。なかまづくりとかげ6~10の数詞と数字が対応している	学 算 自分たちで決めた遊びをする。なかまづくりとかげ1~4の数をていねいに書こう。
2校時	国 学 ひらがなの書き方「も」の書き方	算 なかまづくりとかげ ○1~5の数詞について、具体物や数字、数詞と結び付ける。	算 学 なかまづくりとかげ ○1~5について数字等に関連付ける。	行 1年生を迎える会 歌・言葉の練習	国 学 なんていおうかな どうぞよろしく ひらがなの書き方
3校時	学 音 給食当番の仕事を知る。○給食準備の仕方を知る。じゃんけん列車を歌う。	図 学 好きなものいっぱい ○好きな物の絵を描く。	音 学 歌をうたう。	生 学 わくわくがっこうたんけん ○もっと行ってみたい場所、会いたい人について話し合う。	行 学 1年生を迎える会 歌・言葉の練習
4校時	学 給食の準備をしてみよう。	図 学 好きなものいっぱい ○好きな物の絵を描く。	生 国 国 わくわくがっこうたんけん ○図書室を探検する。図書室の使い方を知る。	国 学 ひらがなの書き方「い」の書き方	体 学 体まぐしの運動 遊具遊び ○ルールを守って遊ぶ。

【今週のねらい】友達と関わりながら、学校の授業の流れに慣れる。								
	4月24日		4月25日		4月26日		4月27日	
朝の会	七小タイム		一年生を迎える会		七小タイム		七小タイム	
1校時	学算	自分たちで決めた遊びをする。 なかまづくりとかず 1～4の数をていねいに書こう。	学算	自分たちで決めた遊びをする。 なかまづくりとかず 〇6、7の構成を理解する。	学算	自分たちで決めた遊びをする。 なかまづくりとかず 〇8の構成を理解する。	国	どうぞよろしく 〇自分の名刺を作り、自己紹介する。 ひらがなの書き方「こ」の書き方
2校時	国	なんていおうかな どうぞよろしく ひらがなの書き方「り」の書き方	国	なんていおうかな 〇挿絵を見てやり取りを考えて実践する。 ひらがなの書き方「う」の書き方	国	なんていおうかな 〇挿絵を見て、やり取りを考えて実践する。 ひらがなの書き方	算	なかまづくりとかず 〇9、10の構成を理解する。
3校時	生	はるをさがそう 〇校庭の中の春を探して回ろう。 どんな春を見つけたのか伝え合おう。	音	歌をうたう。 うたでなかよしくなる	生	はるをさがそう 校庭の中の春を探して回ろう どんな春を見つけたのか伝え合おう	図	じぶんマークでみんなともだち 〇自分のマークをつくり、それらを使って自己紹介カードをつくる。
4校時	道	じゅぎょうがはじまりますよ 〇時間を守ることの良さに気付き、きちんとした生活をする意欲を高める。	体	体まぐしの運動 遊具遊び 〇ルールを守って遊ぶ。	道	じゅぎょうがはじまりますよ 〇時間を守ることの良さに気付ききちんとした生活をする意欲を高める。	図	じぶんマークでみんなともだち 〇自分のマークをつくり、自己紹介カードをつくる。 友達と見せ合いながら自己紹介をする。
							国	えんぴつとなかよし 〇てんぽよく詩を朗読する。 ひらがなの書き方「て」の書き方

【今週のねらい】友達と協力しながら、学校内のルールなどの学んだことを身に付け、実践する。				
	5月1日		5月2日	
朝の会	七小タイム		七小タイム	
1校時	学算	自分たちで決めた遊びをする。 なかまづくりとかず	国	えんぴつとなかよし 〇てんぽよく詩を朗読する。 ひらがなの書き方「け」の書き方
2校時	国	えんぴつとなかよし 〇てんぽよく詩を朗読する。 ひらがなの書き方「と」の書き方	算	自分たちで決めた遊びをする。 なかまづくりとかず
3校時	音	歌をうたう。 うたでなかよしくなる	図	ねんどとなかよし 〇粘土をさわって気付いたことを伝える。 何を作りたいか考える。
4校時	体	体まぐしの運動 遊具遊び 〇ルールを守って遊ぶ。	図	ねんどとなかよし 〇考えたものをつくる。

ここがポイント！

ポイント1「七小タイム」

七小タイムは、教室内に置いてある、折り紙や積み木、塗り絵等から、児童が好きなものを選び、友達と交流する時間です。

スタートカリキュラムの期間は毎日設けることで、児童同士が仲よくなり、学校に行きたいと思うことができるようにします。

ポイント2「教員と児童の信頼関係づくり」

児童が安心して過ごすことができるように言葉掛けをしています。

具体的には、毎日、児童全員と話すようにして、教員に対する信頼感と安心感を育むことができるようにします。特に、入学直後は大切にしています。

第4章 市内幼稚園、認可保育園、認定こども園の取組

令和5年度において、各園は令和2年度から令和4年度までの研究の成果と課題を踏まえ、就学前教育と小学校教育の円滑な接続や各園のよりよい保育、教育活動の充実を目指し、「ふっさっ子像」の16の資質・能力から重点的に涵養を図る資質・能力を明確にした上で実践に取り組みました。

各園が重点的に涵養を図った資質・能力

事例 番号	園名	ふしぎを ふくらます子			つながる つなげる子					さいごまで やりぬく子							
		目 標 へ の 情 熱	好 奇 心	感 性	親 密 性	尊 敬	親 切 ・ 思 い や り	援 助	気 遣 い	社 会 性	忍 耐 力	自 己 調 整	穏 や か	沈 静	楽 観 主 義	自 信	集 中
1	牛浜幼稚園		■	■			■			■		■					■
2	聖愛幼稚園		■	■			■			■			■		■		
3	清岩院幼稚園		■							■	■						■
4	東福保育園	■	■							■	■	■				■	■
5	若葉保育園	■								■	■					■	■
6	加美平保育園	■					■		■	■		■				■	■
7	福生杉ノ子保育園	■	■	■	■				■	■			■	■			■
8	杉ノ子第二保育園			■			■					■	■				
9	杉ノ子第三保育園		■	■	■		■	■	■	■		■	■	■			■
10	弥生保育園	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■			■	■
11	福生保育園		■	■			■	■		■				■		■	■
12	不動の森こども園	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■			■	■	■
13	すみれ保育園	■	■	■			■	■	■		■	■	■			■	■
14	熊川保育園	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
15	わらべつくし保育園	■	■	■	■	■	■			■	■					■	■
16	ありんこ保育園	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■				■	■	■
17	牛浜こども園	■	■	■	■		■		■	■	■					■	■

本表は、令和5年度に実施した実践事例を基に作成しています。

事例 1



園のホームページ

活動名

「自然のものをよく見てみよう」 牛浜幼稚園

園長：松下 正代

住所：福生市熊川 960 番地

関連する「ふっさつ子像」

ふしぎをふくらます子

目標への情熱 好奇心 感性

つながる・つなげる子

親密性 尊敬 親切・思いやり

援助 気遣い 社会性

さいごまでやりぬく子

忍耐力 自己調整 穏やか

沈静 楽観主義 自信 集中

保育環境調査等からの園の実態

保護者と子どものやりとりや遊びと学びのクラス集団活動について、良い評価をいただいたが、活動中の自然・科学の面で保育に取り入れていく必要があるとの調査結果だった。

研究のポイント

自然・科学の分野に重点を置き、自園の特色である畑や広い園庭にある草花を活かして研究を行う。それに合わせて購入した拡大鏡付き虫かごや顕微鏡を使用し、子ども自身で新たな発見ができるよう促す。

取組の様子



[活動内容]

- 畑で虫探し
- ・幼稚園の畑で見つけた虫を拡大鏡の付いた虫かごに入れて観察した。

[園児の様子]

- ・蝶の模様や、てんとう虫のお腹を観察し、虫の体について知ることができた。
- ・「少し見たら替わって。」と子どもたちでルールを作って順番を守って使うことができた。



[活動内容]

- 顕微鏡で見てみよう
- ・園庭や畑の草花を集め、顕微鏡で違いを探した。

[園児の様子]

- ・葉によって葉脈の形が異なることや、毛状突起があることに気付くことができた。
- ・「他のものを見たらどう見えるだろう。」と、興味をもつことができた。

研究の成果や課題

虫かごがあることで、今まで虫に興味なかった子も虫探しに進んで参加するようになった。顕微鏡で見ることに興味をもったので、今後は様々な種類のものを用意して子どもたちが新たな発見をできるように援助していきたい。

事例2



園のホームページ

活動名

「サマーフェスティバル 2023」
聖愛幼稚園

園長：野口 哲也

住所：福生市熊川 490 番地

関連する「ふっさつ子像」

ふしぎをふくらます子

目標への情熱 好奇心 感性

つながる・つなげる子

親密性 尊敬 親切・思いやり

援助 気遣い 社会性

さいごまでやりぬく子

忍耐力 自己調整 穏やか

沈静 楽観主義 自信 集中

保育環境調査等からの園の実態

学年別の活動が多く、園全体で取り組む保育があまりなかったため、今回の行事を企画し、学年の垣根を超えたつながりや、年長者に対する憧れ、年少者に対する思いやりを育むこととした。

研究のポイント

活動の主軸となるのは、ホールでの「パラバルーン活動」と「手作りお面の販売」である。保育者はできるだけ見守りに徹し、子ども同士の声の掛け合いが生まれるよう意識した。

取組の様子



[活動内容]

パラバルーン

[園児の様子]

はじめて体験する園児がほとんどであったが、全員興味津々で最後まで活動していた。

うまくふくらませるためにどうすればよいか、子ども同士、声を掛け合い、トライ&エラーする姿も見られた。集団ならではのダイナミックな遊びを経験し、皆、満足そうであった。



[活動内容]

手作りお面販売

[園児の様子]

「お店屋さんごっこ」を意識しながら、年長児がお面を作り、お店のようにレイアウトし、年中児や年少児が買い物を楽しんだ。

「どんなのが好き。」「こんなものもあるよ。」と優しくお客さんに声を掛ける姿もあり、年中児や年少児と和気藹々とした中で買い物を楽しむことができた。

研究の成果や課題

パラバルーンは、子どもたちだけでなく、保育者も子どもたちの姿から多くを学ぶことができた。また、小規模版「お店屋さんごっこ」である「お面屋さん」は、大いに盛り上がり、売買の体験を通して、子どもたちは社会性を学んでいた。「今度は売る方をやってみたい。」と言う年中児も多く、年長児に対する憧れ、また、年長児になる期待感につながられたと思う。

事例3



園のホームページ

活動名 「プレーアップ」 清岩院幼稚園

園長：榎本 乃子

住所：福生市福生 509 番地

関連する「ふっさっ子像」

ふしぎをふくらます子

目標への情熱 好奇心 感性

つながる・つなげる子

親密性 尊敬 親切・思いやり

援助 気遣い 社会性

さいごまでやりぬく子

忍耐力 自己調整 穏やか

沈静 楽観主義 自信 集中

保育環境調査等からの園の実態

就学に向け、鉛筆に慣れるということからも「遊びながら学べる」ワークで文字や数にも触れているが、取り組み方等にも個人差がある。

皆が意欲的に楽しみながら活動するには、どう導入を工夫していくかが課題である。

研究のポイント

園の課外教室「生活と遊びが学びに変わる楽習法」、「就学前学習の決定版・身体も使い思考力を育む学習プログラム」という内容から、その講師による指導をワークの際に取り入れ、さらにより良い就学に向けた活動としていきたい。

取組の様子



[活動内容] 年 15 回、一回 45 分のプログラム

「プレーアップ」とは、数・図形・言語・量(重い・軽い・短い・長い等)・位置(前後・上下・左右等)の五つの内容を、子どもたちの生活経験やあそびを土台にして進めていく『就学前教育カリキュラム』。文字指導では「お話イメージ運筆法」による、興味・関心がもてる効果的指導法を行っている。一人一人が問題に向き合ったり、友達同士で問題解決を図ったり、この時期に大切な経験を積めるようにしていく。



[園児の様子] 年 15 回プログラム内の 1 テーマ
折紙を使った図形構成の内容

ねらいは量の等分ということである。子どもたちにはコックさんという設定でお料理をお客さんに分ける設定で展開した。はさみを使ってピザに見たてた折り紙を 2 人分・4 人分に切り分け、最後は元の形に構成するところまでを活動として取り組んだ。切り分けたものを再構成する時はパズルをしているような感覚でどの園児も集中して活動していた。

研究の成果や課題

主な成果は興味・関心の増長。論理的思考力の育成。知ること・分かることは、楽しいと思えること。文字に興味をもち、なぞるだけではなく、イメージをしながら書くことにより進んで取り組もうとする点である。今後の課題は、「聞く力」は「座る姿勢」と比例することから、「姿勢保持」と「話を最後まで聞く」ということである。

事例 4



園のホームページ

活動名 「身体を動かして遊ぼう」 東福保育園

園長：黒川 淳子

住所：福生市福生 209 番地

関連する「ふっさつ子像」

ふしぎをふくらます子

■目標への情熱 ■好奇心 □感性

つながる・つなげる子

□親密性 □尊敬 □親切・思いやり

□援助 □気遣い ■社会性

さいごまでやりぬく子

■忍耐力 ■自己調整 □穏やか

□沈静 □楽観主義 ■自信 ■集中

保育環境調査等からの園の実態

生きる力を大切に、年間を通して近隣の自然に触れ、遊びの中に取り入れて遊ぶこと、そして身体を動かして遊ぶことを園全体で継続して取り組んでいる。今年度は講師の先生をお招きし、職員も子どもたちと一緒に体を動かし、様々な運動ができるように考えた。

研究のポイント

四足運動を取り入れ全身を使っての運動、そしてマットや縄遊び、鉄棒などを使って活動し、その中で身体を動かすことの楽しさを感じ、そこから様々な運動遊びにつながるように遊びのヒントを学び、日頃の活動につなげていく。

取組の様子



[活動内容]

準備体操

ボート、アヒル、ハイハイ、ライオン、ワニ
前転(エアマットを使う)

[園児の様子]

初めて見るエアマットに興味を示し、「やってみたい」という気持ちをもって一人一人が取り組んでいた。丁寧な手助けをしてもらいながら「できた」という満足感をもって楽しむことができた。



[活動内容]

準備体操

短縄(丸める、握る、投げる、取る)
縄跳び遊び(マントをコーンにかける)

[園児の様子]

一人一本の短縄を持ち、自分ではなかなか予測できない縄の動きや、衣服の中に通してみるなど普段やったことのない楽しさを見つけて楽しむことができた。

研究の成果や課題

体を動かして遊ぶことが得意な子、苦手な子と様々な子どもたちがいる中で、「もっとやりたい」、「次は頑張る」など子どもたちのやる気を引き出すことのできるムーラさんの体操教室はとても勉強になり、保育者の学びの場になっていければと思う。

事例5



園のホームページ

活動名 「身体を動かして遊ぼう」 若葉保育園

園長：石井ユミ子

住所：福生市熊川 1430 番地

関連する「ふっさつ子像」

ふしぎをふくらます子

■目標への情熱 □好奇心 □感性

つながる・つなげる子

□親密性 □尊敬 □親切・思いやり

□援助 □気遣い ■社会性

さいごまでやりぬく子

■忍耐力 □自己調整 □穏やか

□沈静 □樂觀主義 ■自信 ■集中

保育環境調査等からの園の実態

子どもの運動能力が低下している現状において、運動遊びはとても大切である。子どもが全身を使って伸び伸びと遊ぶ体験が必要であり、その一つとして運動遊具を使って活動し、運動機能を伸ばしたいと考えた。

研究のポイント

マット、鉄棒、縄跳びを使ったり、四足運動を取り入れたりして、全身を使って運動をすることで、子どもの運動機能や反射神経の発達を促すと共に、みんなで楽しめる活動を行った。

取組の様子



[活動内容]

「ボート」、「アヒル」、「赤ちゃん」、「ライオン」などの動きをして、友達と二人組になって運動するなど、四足を十分に動かして全身運動を行う。

[園児の様子]

初めは四足を上手く使えない子どももいたが、いろいろな動きをするうちに動きに慣れ、全身を大きく動かせるようになった。運動遊びをする中で、子ども同士が触れ合い、協力して運動遊びを行い、子ども同士で楽しんで活動していた。



[活動内容]

縄跳びやマット、鉄棒などの運動遊具を使って、基本的な運動遊具の使い方を身に付けて、伸び伸びと身体を動かして遊ぶ。

[園児の様子]

いろいろな運動遊具を使い、基本的な動き方を身に付けていった。難しい動きもあったが、友達の様子を見ながら自分でも“やってみよう”という挑戦の気持ちを持ち、一つ一つの動作をしっかりと真似して運動遊びに取り組んでいた。

研究の成果や課題

一人一人の子どもが「やってみたい」と意欲的に全身を動かして活動していた。また、友達と触れ合って身体を動かして遊ぶ中で、身体を動かす楽しさをより一層感じるようになっていた。運動遊びは日々の積み重ねが大切なため、今後も継続して運動機能の向上に繋げたい。

事例 6



園のホームページ

活動名 「折り紙教室」

加美平保育園

園長：佐藤 淳子

住所：福生市加美平 4 丁目 1 番地 1

関連する「ふっさつ子像」

ふしぎをふくらます子

■目標への情熱 □好奇心 □感性

つながる・つなげる子

□親密性 □尊敬 ■親切・思いやり

□援助 ■気遣い ■社会性

さいごまでやりぬく子

□忍耐力 ■自己調整 □穏やか

□沈静 □楽観主義 ■自信 ■集中

保育環境調査等からの園の実態

自分からやりたい、やってみたいという気持ちを大切にしながら、小さい子と関わることで思いやりの気持ちや自信、満足感、達成感を得られる活動を心掛けている。

研究のポイント

遊びの中や活動をしてきた中で折ってきた折り紙を子どもたちから小さい子に教えたいとの言葉があり、折り紙教室を開き 5 歳児が 4 歳児に折り紙を教えた。年下の園児に教えるということで思いやりの気持ちを持ち、自信につながった。

取組の様子



[活動内容]

- ・年長児が折るものによってグループに分かれる。
- ・小さいクラスの子は、自分で折りたいものや好きな色の折り紙を選ぶ。

[園児の様子]

- ・保育者に付き添われながら自分で作りたいものや色を選ぶ。



[活動内容]

- ・年長児は分かりやすく丁寧に教える。
- ・年長児に教えてもらいながら折り紙を折る。

[園児の様子]

- ・年長児が教えてくれることを真剣な表情で聞き、折っていた。
- ・出来上がるとうれしそうに担任に見せていた。

研究の成果や課題

小さいクラスの子どもたちに教えるということで、「分かりやすく教えるにはどのように話せばいいのだろう」などと考えながら教えている姿が見られた。思いやりの気持ちを持ち、小さいクラスの子に教えることができたという、自信や満足感を得ることができた。

事例 7



園のホームページ

活動名 「室内遊び」

福生杉ノ子保育園

園長：荒木 弘美

住所：福生市志茂 47 番地 3

関連する「ふっさつ子像」

ふしぎをふくらます子

■目標への情熱 ■好奇心 ■感性

つながる・つなげる子

■親密性 □尊敬 □親切・思いやり

□援助 ■気遣い ■社会性

さいごまでやりぬく子

□忍耐力 □自己調整 ■穏やか

■沈静 □楽観主義 □自信 ■集中

保育環境調査等からの園の実態

保育環境調査のフィードバックでは、ICTを活用した活動ができていないため、小学校のICT教育に向け、タブレット等を取り入れた活動をするとうまいことだった。

研究のポイント

- ・小学校でのICT教育に向け、タブレットの扱い方を知り、ICTに興味をもつ。
- ・とびだすアースボールを使って、地球や環境に興味をもつ。

取組の様子



[活動内容]

自由遊び（コーナー遊び） 5歳児

[園児の様子]

コーナーに設置すると、興味を示していた。はじめは保育者と一緒に使い方を習ったり、触ってみたいしたが、慣れてくると自分で地球の不思議を調べていた。



[活動内容]

自由遊び（コーナー遊び） 5歳児

[園児の様子]

子どもたちは、ICTに興味があり、積極的に一人で「地球の不思議」や「環境の不思議」を調べ、保育者や友達に調べた結果を知らせていた。

研究の成果や課題

子どもたちは、ICTに興味があったので、活動に取り入れるのはとてもスムーズだった。地球や環境を調べながら他に興味があったことも自分たちから調べることができていた。今後は5歳児だけでなく成長に合わせ、幼児クラスで取り入れるようにしたい。

事例 8



園のホームページ

活動名

「保育室の中の小さなお家」 杉ノ子第二保育園

園長：平野千恵子

住所：福生市南田園3丁目4番地2

関連する「ふっさつ子像」

ふしぎをふくらます子

目標への情熱 好奇心 感性

つながる・つなげる子

親密性 尊敬 親切・思いやり

援助 気遣い 社会性

さいごまでやりぬく子

忍耐力 自己調整 穏やか

沈静 楽観主義 自信 集中

保育環境調査等からの園の実態

集団から離れて一人になれる場所や気持ちを落ち着かせる環境設定がされることが望ましいとのことから、小さなお家を保育室に導入する。

研究のポイント

- 1 このような空間を子どもたちがどのように利用していくか。
- 2 この空間を利用したことでどのような効果が得られたか。

取組の様子



[活動内容]

午睡前の絵本の読み聞かせ・帰りの会など

[園児の様子]

集団の中で保育者の話を聞いたり、友達と一緒に活動に参加したりすることが苦手である。クラスの活動には興味があるため、集団から少し離れたお家の中から友達の様子を見ている。小さなお家の中で気持ちが落ち着き、自分のペースで集団の活動に参加することが出来た。



[活動内容]

自由遊び

[園児の様子]

友達との関わりの中で、自分の思いが通らずトラブルになってしまった。保育者の仲立ちにより、相手の園児と話をしたが、相手の話を受け入れることが難しい様子が見られた。本人が自ら小さなお家に入り気持ちを落ち着かせる様子が見られたため、保育者はその様子を見守った。しばらくすると自然と友達との遊びを再開することが出来た。

研究の成果や課題

今回、このような空間を設定したことで、子どもたちのお気に入りの場所となった。気持ちを落ち着かせることで、集団での取組がスムーズになった子もいた。

事例 9



園のホームページ

活動名

「コーナー遊び」

杉ノ子第三保育園

園長：小田 直美

住所：福生市熊川 373 番地 1

関連する「ふっさつ子像」

ふしぎをふくらます子

目標への情熱 好奇心 感性

つながる・つなげる子

親密性 尊敬 親切・思いやり

援助 気遣い 社会性

さいごまでやりぬく子

忍耐力 自己調整 穏やか

沈静 楽観主義 自信 集中

保育環境調査等からの園の実態

年長児クラスにおいて、図書コーナーの設置がなく、落ち着いた空間を設置できると良いとのことだった。

研究のポイント

年長児クラスに落ち着けるスペース及び図書コーナーを設置する。

取組の様子



[活動内容]

自由遊び（コーナー遊び） 4 歳児

[園児の様子]

コーナーを設置すると、嬉しそうに何をしようかと子どもたち同士で話をしたり、場所を譲り合いながら遊んだりする姿が見られている。

おままごとをするなど、さまざまな遊びを楽しんでいる。



[活動内容]

自由遊び（コーナー遊び） 5 歳児

[園児の様子]

自分たちでコーナーを作り始める。

個人で読んだり、一つの本を友達と読んだりして楽しんでいる。

時には、くつろぎの場としている。

研究の成果や課題

落ち着ける空間を作るための柔らかいマット、本棚と年長児向けの図書を設置したことで、いつでも読みたい時に読み、子どもたちが疑問に思ったことなども進んで調べたりする姿が見られることが多くなった。

事例 10



園のホームページ

活動名 「探検隊」

弥生保育園

園長：高山佐代子

住所：福生市加美平3丁目37番地13

関連する「ふっさつ子像」

ふしぎをふくらます子

■目標への情熱 ■好奇心 ■感性

つながる・つなげる子

■親密性 ■尊敬 ■親切・思いやり

■援助 ■気遣い ■社会性

さいごまでやりぬく子

■忍耐力 ■自己調整 ■穏やか

■沈静 □楽観主義 ■自信 ■集中

保育環境調査等からの園の実態

サブスケール4 活動のスコアの項目全体が低い。ICT化のスコアは0

サブスケール3 言葉と文字のスコアの語彙の拡大、絵本を読む環境が低い。

他のスコアは全体的に良い。

研究のポイント

サブスケール4 自然／科学の分野を通して、研究を進めていく。探検隊にて、iPadでの撮影を行い、ICT化を取り入れる。

サブスケール3 言葉と文字において、プロジェクターでの発表の機会を設定する。

取組の様子



[活動内容]

探検隊専門職員が年長児を対象に、探検隊(自然体験活動)を実施する。植物、昆虫などの生き物をiPadにて写真に残し、子ども、保育者と対話しながら、振り返りの時間をつくる。

[園児の様子]

iPadを手にする、扱い方がよく分かっている。気になった自然物をきれいに撮ることが出来た。園に戻ると、図鑑で調べたりiPadを見直したりしながら活動の内容を振り返り、対話を楽しんだ。



[活動内容]

探検隊にてiPadで撮った写真をプロジェクターで映し出し、その時の様子や、生き物のクイズを年少児や年中児に発表した。見つけた自然物のスタンプラリーを配り、散歩への期待に繋げる。

[園児の様子]

プロジェクターを見ながら、マイクを使用し、保育者が写真に打ち込んだ文字を、読みながら発表した。年少児らはスタンプラリーのカードが配られたことで、散歩への期待の声があがった。

研究の成果や課題

探検隊で心が動いた瞬間を友達と共有しながらiPadで撮影した。園に戻ってから発見したことを、iPadで気軽に振り返りができたのも学び意欲になった。プロジェクターを使用しながら、探検隊での気付きや発見を発表につなげていくことができ、子どもたちの発言意欲が高まったように思う。

事例 11



園のホームページ

活動名 「きのこ栽培」

福生保育園

園長：坂村 直美

住所：福生市福生 1058 番地 11

関連する「ふっさつ子像」

ふしぎをふくらます子

目標への情熱 好奇心 感性

つながる・つなげる子

親密性 尊敬 親切・思いやり

援助 気遣い 社会性

さいごまでやりぬく子

忍耐力 自己調整 穏やか

沈静 楽観主義 自信 集中

保育環境調査等からの園の実態

サブスケール4 活動4-6 自然/化学
自然に触れ、好奇心や探求心をもつ。
不適切～最低限の間のスコア。全体でも
2.6/2.0の結果。

研究のポイント

体験したことのないキノコの成長の観察
水やりなどの継続的な世話
収穫し、食すという食育
育てたものをいただくことの経験

取組の様子



[活動内容]

キノコの観察

世話の仕方を皆で調べる。

キノコを育て、育ったキノコを観察し、絵を描く。

[園児の様子]

楢木の匂いを嗅いだりして観察する。

風通しの良い所を子どもたちで探したり、水やり方法を相談したりして決める。

「どんなふうに見えるのか、色は何色がいいかな。」と話しながらじっくり観察して描く。



[活動内容]

調理、試食

[園児の様子]

「良い匂い!」、「おいそう!」と焼き上がる様子も楽しみながら、苦手な子も一緒に食べていた。

研究の成果や課題

なかなか見る事のないキノコの栽培に、子どもたちも興味をもって観察していた。世話も自ら継続して行い、日々の様子の変化を友達同士で報告し合う姿も見られた。栽培を通して食育を行い、かつ人間関係を育むことができ、さらには継続して行う楽しさも味わうことができた。

事例 12



園のホームページ

活動名 「室内遊び」

不動の森こども園

園長：今井 敬子

住所：福生市福生 2143 番地 11

関連する「ふっさつ子像」

ふしぎをふくらます子

■目標への情熱 ■好奇心 ■感性

つながる・つなげる子

■親密性 ■尊敬 ■親切・思いやり

■援助 ■気遣い ■社会性

さいごまでやりぬく子

■忍耐力 ■自己調整 ■穏やか

□沈静 ■楽観主義 ■自信 ■集中

保育環境調査等からの園の実態

子どもたちの日常生活、活動の中で2倍、3倍あるいは1/2などの概念を楽しみながら数字への興味や関心を高めることのできる積み木を導入し、環境を設定する。

研究のポイント

手先の器用さ、バランス感覚、集中力を養う。
想像力・創造性を高める。

取組の様子



[活動内容]

構成遊び

[園児の様子]

個々や他児とイメージしたものを作り、高さを競うなど、自分たちで様々な遊び方を考え楽しんでいる。



[活動内容]

バランス遊び

[園児の様子]

順番にサイコロを振り、出たものの大きさ、数等、自分の思いだけではすすめられないことや、倒れないように気を付け集中して取り組み、スリルを楽しんでいた。

研究の成果や課題

積み木はレゴブロック等とはまた違い、バランス等ちょっとした不安定さがあるため集中や手先の器用さも必要で、表現や展開も様々であると感じた。もう少し数があると年長児ならではの対策もできるかと考える。

事例 13



園のホームページ

活動名

「クリエイティブワゴン」 すみれ保育園

園長：肥沼 直美

住所：福生市福生 959 番地 8

関連する「ふっさっ子像」

ふしぎをふくらます子

■目標への情熱 ■好奇心 ■感性

つながる・つなげる子

□親密性 □尊敬 ■親切・思いやり

■援助 ■気遣い □社会性

さいごまでやりぬく子

■忍耐力 ■自己調整 ■穏やか

□沈静 □楽観主義 ■自信 ■集中

保育環境調査等からの園の実態

保育理念に基づき、子どもたちの自主性や探求心を養う事を目指した保育を行っている。

研究のポイント

クリエイティブワゴンに初めて触れた時から、時間が経つにつれ、子どもたちに、どのような変化が見られるのか。

どのように用具や素材を選び、使おうとしているのか、友達との関わりはどのような姿が見られているのか。

取組の様子



[活動内容]

色々な素材に触れる。

自分の好きな素材を自由に選び発想を広げながら作る。

はさみやセロハンテープ等素材の扱い方や文具や紙類の片付け方を知り、行う。

[園児の様子]

色々な素材や文具が入っているワゴンを見て、どの園児も興味をもっていた。



使い始めはワゴンに子どもたちが集中してしまい混雑していたが、徐々に落ち着き、やりたいと思った子たちが自由に製作活動を楽しんでいる。

自由に素材を選べる事で、子どもたちの発想がさらに広がっていった。

自分のイメージしたものを作っていくうちに違うアイデアも出てきて楽しんで取り組んでいる。友達との会話もはずみ、お互いに刺激を受けながら好きな物を作っている。

研究の成果や課題

色々な素材や文具がある事で、目移りをして、まずは作るよりも触れて試しているようで、散らかってしまうことがあったが、徐々に自由に必要な物だけ素材を選び製作を楽しめるようになってきた。これからも意識をして、時間の確保や様々な素材を用意していきたい。

事例 14



園のホームページ

活動名 「音楽教室」

熊川保育園

園長：高橋 和子

住所：福生市熊川 597 番地 1

関連する「ふっさっ子像」

ふしぎをふくらます子

■目標への情熱 ■好奇心 ■感性

つながる・つなげる子

■親密性 ■尊敬 ■親切・思いやり

■援助 ■気遣い ■社会性

さいごまでやりぬく子

■忍耐力 ■自己調整 ■穏やか

■沈静 ■楽観主義 ■自信 ■集中

保育環境調査等からの園の実態

過去2年間の保育環境評価スケールの評価で、サブスケール4：活動項目の、音楽リズムがスコア2であった。日頃から歌を歌ったり楽器に触れたりする機会はあるが、感じたことや考えたことを音や動きで楽しむ経験が、保育の中で少なかったと思われる。

取組の様子



[活動内容]

童謡をみんなで歌い、講師の先生と子どもたちで輪唱を行う。

[園児の様子]

初めての歌や、日頃歌ったことがある歌等、歌う事を楽しんでいた。また歌う事を体で表現したり、その歌詞に合わせて強弱をつけたりして、表現力豊かに歌うことが出来た。



[活動内容]

楽器を使い、ピアノ伴奏のリズムに合わせて楽器ごとに音を出す。最後は楽器全てで音を出して皆で曲を作り上げる。

[園児の様子]

楽器の音を出す事の難しさを感じる子、すぐにリズムをとれる子等がいた。曲を作りあげられた事で笑顔が見られ、「もう一度やりたい」という言葉がたくさん聞かれた。

研究の成果や課題

子どもたちのリズム感が良くなり、運動会でのダンスも例年以上に盛り上がる事が出来た。普段触れる事が少なくなっている童謡に触れる事も出来た。歌を歌うことや、楽器に触れ皆の音で合奏することを楽しむことが出来た。

事例 15



園のホームページ

活動名

「共同制作(鳥の学校)」 わらべつくし保育園

園長：瀬沼 圭子

住所：福生市南田園1丁目4番地12

関連する「ふっさつ子像」

ふしぎをふくらます子

■目標への情熱 ■好奇心 ■感性

つながる・つなげる子

■親密性 ■尊敬 ■親切・思いやり

□援助 □気遣い ■社会性

さいごまでやりぬく子

■忍耐力 □自己調整 □穏やか

□沈静 □楽観主義 ■自信 ■集中

保育環境調査等からの園の実態

小学生と交流活動が行える様に、実施へ向けて連携を図っていきたい。また、保護者へ向けて活動の様子を報告し、安心して就学へと向かっていける様に努めたい。ICTを活用して遊びや生活の幅を広げたいと考えた。

研究のポイント

小学校見学、交流活動の実施。

子どもたちと共に保護者も小学校へと足を運ぶ機会を作る。

小学校との連携について、活動の様子等を懇談会等で保護者及び職員へ報告を行う。

取組の様子



[活動内容]

学校見学に向けて「学校はどんなところ」をテーマに、就学前健診の事を聞いたり、絵本やiPadを使用したりして調べる。

[園児の様子]

就学前健診にて経験した事をお互いに話す事で共有できた。

学校への期待感ももっている様子が見られた。



[活動内容]

福生第五小学校5年生による『五小ってこんなところ』学校見学を行う。学校内に掲示してあるものや置いてあるもの、小学生の作品から鳥に興味をもてるようにする。園に戻り、鳥の制作に向けての相談をする。iPadにて調べていく。

[園児の様子]

小学生と交流をもつことで就学が楽しみになっている様子が見られる。「また行きたい!」「天井や壁に鳥がたくさんあった」など個々の気付きを話している。学校で見た鳥を調べようと意欲的な姿がある。

研究の成果や課題

小学生の姿からiPadへ興味・関心を示す姿があった。また、就学に向けて、期待感や安心感をもつことができた。今後も学校との連携を図れるように、副校長先生や先生方と話す機会を作り、園児と小学生の両者がお互いにより良い育ちにつながるような事を考えていく。

事例 16



園のホームページ

活動名 「森の教室」

ありんこ保育園

園長：鈴木 聖子

住所：福生市加美平 1 丁目 17 番地 7

関連する「ふっさつ子像」

ふしぎをふくらます子

■目標への情熱 ■好奇心 ■感性

つながる・つなげる子

■親密性 ■尊敬 ■親切・思いやり

■援助 ■気遣い ■社会性

さいごまでやりぬく子

■忍耐力 ■自己調整 □穏やか

□沈静 ■楽観主義 ■自信 ■集中

保育環境調査等からの園の実態

自然の中でとことん遊ぶ。

心を開放して様々なことを発見する中で好奇心や関心を育み、五感を発達させながら心も体も豊かに育つことを大切にしている。

研究のポイント

公共のルールやマナーを伝えていく。

自然の中で伸び伸びと体を動かして遊ぶ楽しさを味わい、体力をつけていく。

自然の中で様々な発見や探求ができるよう、気付きを促せるように接していく。

取組の様子



[活動内容]

駅までは歩き、電車に乗って出掛ける。

[園児の様子]

電車の乗り方や過ごし方等、公共のルールやマナーを学んでいる。

電車の中から景色を眺めたり、友達や保育者との会話を楽しむ。

園から持参した図鑑を広げ、生き物や植物について知識を深める。



[活動内容]

自然と触れ合いながらたくさん体を動かして遊ぶ。

友達や異年齢児との仲を深め、思いやりの気持ちを育てる。

[園児の様子]

年上児を真似しながら斜面登りに挑戦し、達成感や満足感を味わっている。

様々な生き物や植物を発見する。

友達と楽しさや驚きを共感している。

研究の成果や課題

公共のルールやマナーは実践することで少しずつ覚えていくことができる。

たくさん歩いて体力がつく。自然の中で五感を使いながら遊ぶことによって子どもたちの興味・関心や探求心が深まっていく。異年齢児で助け合いながら過ごすことで思いやりの気持ちを育てていく。

事例 17



園のホームページ

活動名

「アート活動」～感受性と社会性を育む～
牛浜こども園

園長：佐藤 益子

住所：福生市牛浜 121 番地 4

関連する「ふっさっ子像」

ふしぎをふくらます子

■目標への情熱 ■好奇心 ■感性

つながる・つなげる子

■親密性 □尊敬 ■親切・思いやり

□援助 ■気遣い ■社会性

さいごまでやりぬく子

■忍耐力 □自己調整 □穏やか

□沈静 □楽観主義 ■自信 ■集中

保育環境調査等からの園の実態

保育の中で、少し高度な用具や材料の使い方を適切に教え、絵画や造形物をつくるアート活動が、今後の課題と考察した。年間を通し適切なアート活動を取り入れ、物に触れ、関わり、操り、つくり出し、夢中になることを支え、学びに向かう力を育てる保育を実践する。

取組の様子



研究のポイント

物の美しさ等に対する豊かな感性をもつ。
感じた事等を自分なりに表現して楽しむ。
イメージを豊かにし様々な表現を楽しむ。
良さを認め合い表現する喜びを味わう。
完成のイメージをもち、目標に向かって試行錯誤し、協力して制作をする。

[活動内容]

美術館を見学し、作品の製作過程に触れる。
印象に残った作品を受けて造形物を作る。

[園児の様子]

作品や製作過程にとっても興味・関心を寄せていた。また、ジブリ作品の世界観から刺激を受け、背景画等、細かな部分までイメージを膨らませて製作する姿が見られた。

紙粘土の感触や絵の具での色作りを楽しみ、イメージ図を用いて、目標に向かって製作していた。

[活動内容]

運動会で踊る「ソーラン節」の由来や大漁旗の意味を知り、大漁旗のイメージを話し合い、デザインを考えた。大きな白布に絵を描きアクリル絵の具で色付けを行った。

[園児の様子]

どのような色合いや模様にするかを話し合いながら、偶然できた色や模様を楽しみ、楽しかった方法を教え合い、「この色綺麗だよ」と感動した事を伝え、認め合う姿が見られた。

研究の成果や課題

友達と一緒に視覚的思考を繰り返す事で、感受性が一層豊かになり発見する喜びを味わえた。絵画や造形活動の中で、自尊感情を高めながら自己形成がなされ、自己を取り巻く人々や社会に目を向けるきっかけが生まれたと考える。今回の経験を通して、円滑な就学へつなげていきたい。

令和5年度 幼保小連携推進委員会 年間計画について

1 研究主題

幼保小の円滑な接続・連携の促進と幼児教育の充実を図る取組について ～「学びに向かう力、人間性等」の涵養の観点から～

2 幼保小連携推進委員会の目指す接続期の「ふっさっ子像」

学習指導要領より 「学びに向かう力、人間性等を涵養すること」

OECD (2015) が提唱する社会情動的スキルの要素

- ① 目標の達成 ② 他者との協働 ③ 感情のコントロール

福生市の子どもの実態

▲好奇心が乏しい。 ▲粘り強く取り組めない。 ▲自己肯定感が低い。

(1) 不思議をふくらます子

■ 目標への情熱 ■ 好奇心 ■ 感性

(2) 人とつながる・つなげる子

■ 親密性 ■ 尊敬 ■ 親切・思いやり ■ 援助 ■ 気遣い

■ 社会性

(3) 最後までやりぬく子

■ 忍耐力 ■ 自己調整 ■ 穏やか ■ 沈静 ■ 楽観主義

■ 自信 ■ 集中



3 活動の取組内容

幼保小連携推進委員会を通じた実践的研究

I 幼保小接続の交流活動の充実を図る取組

- 4月スタートカリキュラムの実施
- 5歳児クラスの幼稚園・保育園参観（夏休業日・2学期を予定）
- 幼保小の円滑な接続に向けた交流活動シートの作成【新規】
「『ふっさっ子スタダード』を踏まえた保育・教育計画」
「交流活動シート」の作成・活用（2学期を予定）

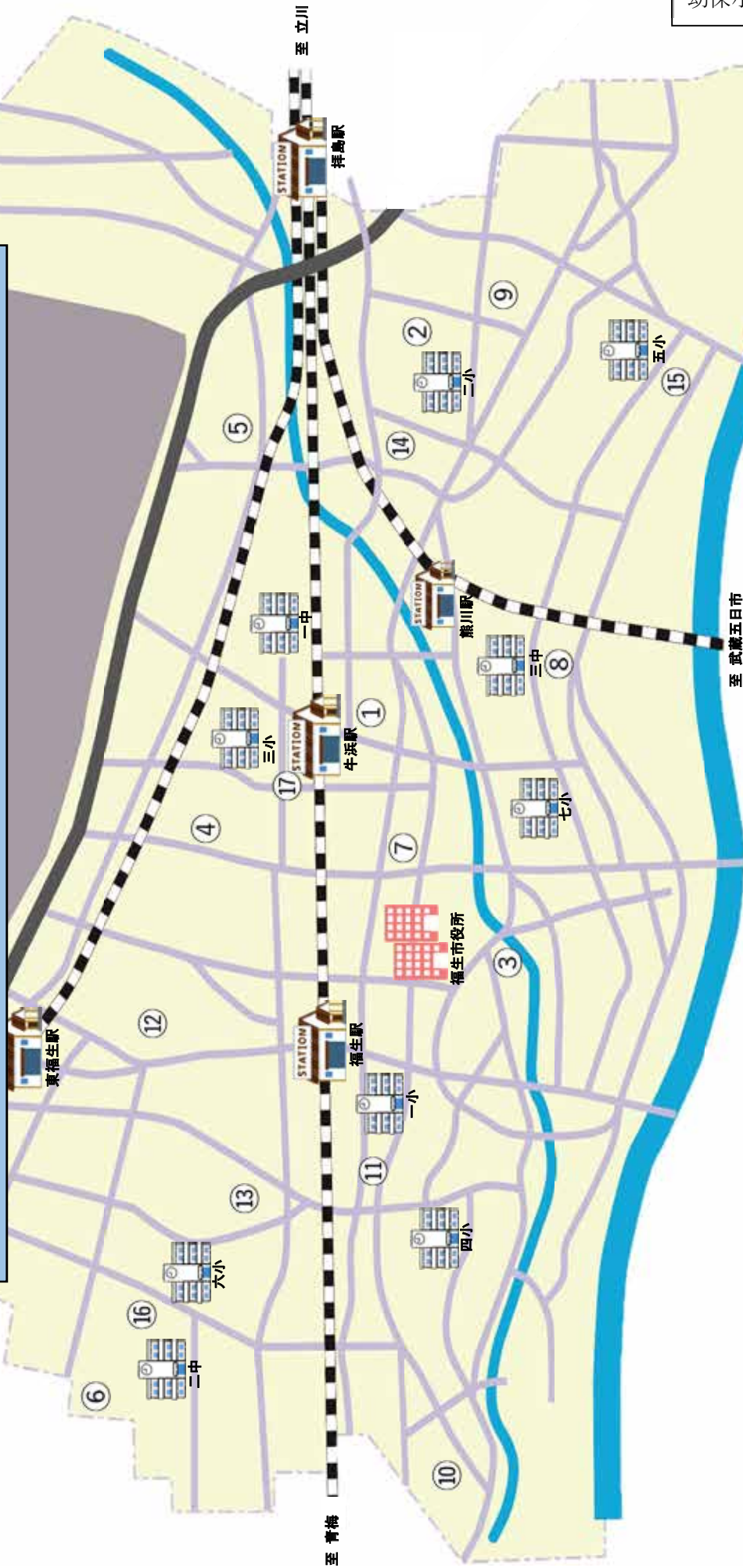
交流活動シートの特長

- シート1枚で互いの教育活動を可視化
- 互いの教育理解を深めるための工夫
- 幼児と児童の交流活動の現状・課題に対応する工夫

4 令和5年度 活動計画（予定）

4月24日(月)～28日(金)	第1回 5月8日(月)	第2回 7月14日(金)	8月～9月	1月19日(金)	第3回 2月27日(火)
『スタートカリキュラム』 ・各小学校において実施 ・進学した児童について の情報共有	・幼保小の円滑な接続に向けた 交流活動シートの作成について 「ふっさっ子スタダード」 「交流活動シート」の作成・活用	・「交流活動シート」の協議 ・5歳児クラスの幼稚園・ 保育園参観について	『5歳児クラスの 幼稚園・保育園参観』 ・各園にて実施 ・「交流活動シート」の 協議	『就学前教育 カンファレンス』 会場：ティアラこうとう 時間：午後（時間未定） 講師：未定	・進学する児童についての情報 交換等 ・次年度における推進委員会の 活動内容について

幼保小連携推進園 一覧



①	牛浜幼稚園	④	東福保育園	⑧	杉ノ子第二保育園	⑫	不動の森こども園	⑯	ありんこ保育園
②	聖愛幼稚園	⑤	若葉保育園	⑨	杉ノ子第三保育園	⑬	すみれ保育園	⑰	牛浜こども園
③	清岩院幼稚園	⑥	加美平保育園	⑩	弥生保育園	⑭	熊川保育園		
		⑦	福生杉ノ子保育園	⑪	福生保育園	⑮	わらべつくし保育園		

福生市幼保小連携推進委員会 委員名簿（令和5年度）

所属	氏名
福生第六小学校	◎ 榎並 隆博
福生第三小学校	○ 西村 学徳
牛浜幼稚園	田中 友紀
聖愛幼稚園	野口 哲也
清岩院幼稚園	榎本 直美
東福保育園	田中 智子
若葉保育園	野島 洋子
加美平保育園	山崎美智代
福生杉ノ子保育園	伊藤 綾子
杉ノ子第二保育園	竹内 リサ
杉ノ子第三保育園	小俣 紋子
弥生保育園	及川 敏晴
福生保育園	坂村 直美
不動の森こども園	梅林美由紀
すみれ保育園	植松 直美
熊川保育園	村野 順子
わらべつくし保育園	星 真弓
ありんこ保育園	鈴木 瑞穂
牛浜こども園	小笠原 編
福生第一小学校	小谷田宏美
福生第二小学校	笠原 美緒
福生第三小学校	佐藤 真琴
福生第四小学校	纒坂 浩美
福生第五小学校	石川 智子
福生第六小学校	井澤 元花
福生第七小学校	大町 由季

◎委員長 ○副委員長

事務局

所属	氏名
子ども家庭部 子ども育成課長	上杉 隆
教育部 参事	勝山 朗
教育部 主幹	吉本 一也
教育指導課 指導主事	竹内 秀礼
教育指導課 指導主事	東小川智史
教育指導課 指導主事	田畑 圭洋

福生版幼保小連携推進ガイドブック

令和6年1月

編集・発行	福生市教育委員会教育部教育指導課
所在地	福生市本町5番地
電話番号	042-551-1538
印刷	有限会社あつぷ印刷工房

